

2022年10月1日



月刊

もぐら通信

2025年10月1日 第161号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

電話
042-ABE-KOBO

FAX
042-KOBO-ABE



目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板...page 3
- 3 巻頭詩 (4 6) : ナンタケット島 : ロバート・コンクエスト.....page 1 4
- 4 コーボー・ベーシックス **kobo basics** (7) : トポロジー.....page 2 2
- 5 『都市への回路』論 (1 6) : (3) 写真について[視覚の小説『箱男』] / ①写真について.....page 2 7
- 6 SFで思考するための本棚 (9) : 荒巻義雄論 : 『しみ』page 3 4
- 7 遁走倶楽部 (2) : エピチャム語から本邦初の翻訳 S・カルマ氏 [翻訳] 岩田英哉.....page 3 1
- 8 日本一極国家論 (続篇) : GAME CHANGE理論 (1 0) : 4.1.6 日本国家核ミサイル保有論.....page 3 8
- 9 ネット・モナド論 (3 4) : 貨幣とは何か.....page 4 3
- 1 0 カフカの箴言 (8) : 彼は、寝床 (ベッド) で終わる (果てる)page 5 2
- 1 1 ショーペンハウアーの箴言 (2) : 運命がトランプのカードをシャッフルし.....page 5 3
- 1 2 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~ (3) : 1。古事記の中の糞尿と性愛 / 1. 1 神武初代天皇の皇后 (きさき) の出生譚 (2) : 待て次号 : 岩田英哉...page
- 1 3 高天原便り (8) : genius locipage 5 5
- 1 4 縄文紀元論 : Topologyで日本人を読み解く (3 5) : 5.3 7 大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのかpage 5 7
- 1 5 Topologyで日本の文化を解説する : 内なる辺境シリーズ (1 2) : 扇... page
- 1 6 東ドイツ回想記 (3) : 何故わたしは東ドイツに行つたのか 2...page 5 9
- 1 7 編集方針.....page 6 3



The best tweets of the month



該当なし



Yoshihiro Ishii@YoshihiroIshii 1-Sep 17
安部公房の流儀なら絶望も希望の一形態となるかな

The worst tweet of the month

Yoshihiro Ishii@YoshihiroIshii 1-15h
安部公房なんかも不純な芝居書きだったみたいだね、
女優と恋をしていたからね

今月の餃子

宮@myaniwani-Sep 19
安部公房のwikipediaの写真まだ餃子
つくってるところかよ

今月のかいわれ大根

Book Station@bookstation1228-Sep 18
おはようございます。今日は #かいわれ大根の日 なんです。以前紹介した安部公房『カンガルーノート』は、脛にかいわれ大根が生えてしまった男が主人公です。

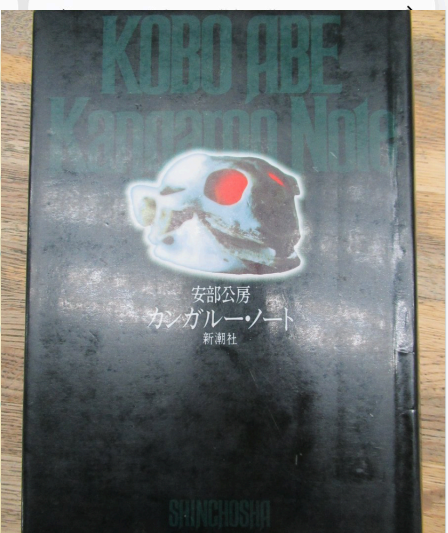
今月の夜の会

五十女こけ (いそめこけ) @映画、読書、古典、評論@isoisodo-Sep 17
ひとゆかば
夜の会 (1948年)
1948年花田清輝と岡本太郎の共闘に発足する芸術研究会。戦後のアヴァンギャルドの駑蕩らしく戦後派の作家たちが名を連ねる一方針生一郎の顔も見える。程なく安部公房、関根弘が参加。活動は短いながら安部の「世紀の会」、北代省三らの「実験工房」へと展開。

安部 公房 (あべ こうぼう、1924年 (大正13年) 3月7日 - 1993年 (平成5年) 1月22日) は、日本の小説家、劇作家、演出家。本名は安部 公房 (あべ きみふさ) [1] [2]。東京府北豊島郡 (現・東京都北区) 出身。



餃子を調理している安部公房 (1954年)



Handwritten note: 55 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025



ALT

目次

極主義	岡本太郎
造のモメント	安部公房
時代精神	埴谷雄高
人間の条件について	椎名麟三
アリズム序説	花田清輝
実験小説論	野間宏
社会主義リアリズムについて	關根弘
イクシオンについて	佐々木基一

今月の花田清輝

菅野和明@Tw1tSLgaaWzK2Qv・15h

今日の積み本の作者サン♪♪いらっしやいは。評論家の花田清輝さん、命日に当たります。日本でアバンギャルドと言え、氏と安部公房さん。安部公房さんの全集も買ったので、古本で氏の全集も買いかけた。積み本と昨今の地震で自宅危ない(ó×ò)

岩波書店@Iwanamishoten・19h

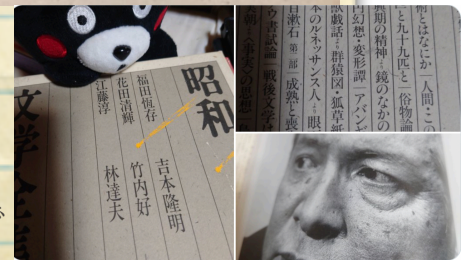
今日は小説家・評論家、花田清輝の命日(1974年)。反語・逆説を自在に駆使した文体で、アバン-ギャルド運動を指導しました。代表作に、小説「鳥獣戯話」、評論「復興期の精神」など。

トラッパー@robertbloch0886・16h

花田清輝と安部公房って限りなく師弟関係に近いから実質花田一人でいいんじゃないか問題 吉本隆明との論争で外野の埴谷雄嵩から負けた認定されて過去の人扱いになったのが惜まれる その埴谷も吉本とコムデギャルソン論争で叩きのめされて過去の人に因果は巡る

目次

對極主義	岡本太郎	五
創造のモメント	安部公房	四五
反時代精神	埴谷雄高	七五
人間の条件について	椎名麟三	一〇七
リアリズム序説	花田清輝	一四三
実験小説論	野間宏	一七九
社会主義リアリズムについて	關根弘	二〇七
イクシオンについて	佐々木基一	二四一



今月の文豪

jurys memories bot@jurys_favorite·Sep 22

NWPシリーズ/富士通の「OASYS」に対抗し日本電気(NEC)が発売した同社初の日本語ワープロ。1980年発売の「20」に始まり、亜種の「10N」は安部公房が愛用。これは作家がワープロを用いて執筆した最初の例とされる。なお安部は後に後継機の「文豪」の開発にも協力し、遺稿も同機のデータから発見された。

今月の寺山修司

村岡勇治 YujiMuraoka@yujifav3·Sep 22

の寺山作品、もう少し進化させて安部公房×寺山、公房×唐みたいなコラボ企画したと思う。あの頃は寺山、安部両氏も健在だったし、当時のPARCOは勢いがあったから、実現出来たと思うんだな。何となく、想像していたことの一部を金さんが実現させてくれたような気がする。

けいすけ@Keskhitai·Sep 16

安部公房と北条民雄にはまった僕ですが、寺山修司には一向にハマれないんだよな、、、僕の勝手な仮説ですが、安部公房好きと寺山修司好きは別れるのでは？

今月のヤマザキマリ

ちくわ @読書と読書会と哲学カフェ@RgRIEQtwI7UaY3u·Sep 17

「100分de名著」、あまり読んだことなかったですが、いいですね♪ はてなブログに投稿しました #はてなブログ #読書好きな人と繋がりたい #読書100分de名著「安部公房 砂の女」 ヤマザキマリ - ちくわのぴよんぴよん読書日記 ~読書・読書会・哲学カフェ

すすみーむ@osusumeme · Sep 18

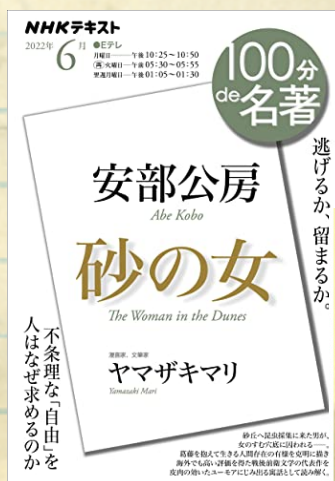
ヤマザキマリさんの 壁とともに生きる: わたしと「安部公房」(NHK出版新書)を Amazonでチェック!

今月の他人の顔

あちこ@achiko_movie·

Sep 19

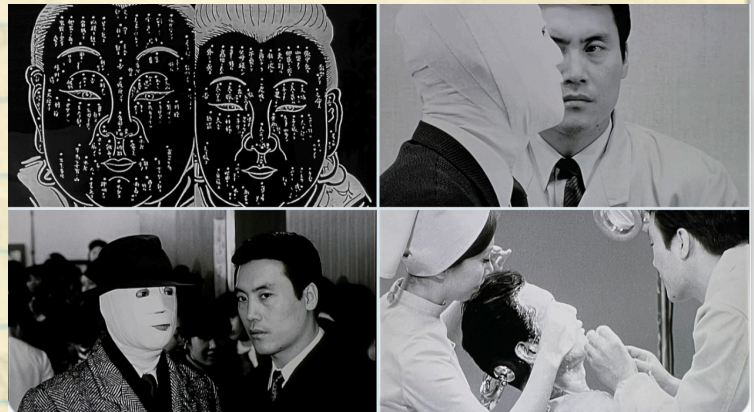
1966年『他人の顔』
事故で顔を失い、狂って
いく男。人にとって、顔っ
て何だろう?と考えさせら
れる。人間社会が無ければ、顔なんて要らないのかも知れない



顔なんて要らないのかも知れない

モノクロ映像と武満徹の音楽で、全体的に無機質な印象の映画だが、後半、男が新たな顔を得て妻をナンパする辺りから、画面に生気が宿り始める

マツヤママコト born with
Biophilia@metaflorist
Sep 23
安部公房、勅使河原宏
Quote Tweet



阿乱隅氏@yoiinago417
Jul 28

明日はBS松竹東急「他人の顔」放送。安部公房原作脚本、監督勅使河原宏の「砂の女」コンビが、不確かな世界におけるアイデンティティの問題を追及した野心作です。先鋭的な美術等に見る「60年代モダン」なビジュアル面も見どころ。主人公の妻京マチ子の美貌。岸田今日子に市原悦子、クセ者女優の怪演。

ひろこ@読んでは喋る
(読書ラジオ) @yonsyabe
Sep 23

世界の名作のタイトルを毎日
つぶやきます♪

『 他人の顔 』 安部公房
仕事で顔に薬品をかぶり大ケ
ガを。妻との関係への不安から…。



books.rakuten.co.jp
他人の顔 (新潮文庫 あ-4-1 新潮文庫)
安部 公房 | 1968年12月24日頃発売

今月の幽霊はここにいる

ORICON NEWS (オリコンニュース)
@oricon-Sep 15

ジャニーズWEST 神山智洋、43年ぶり
舞台化の傑作で主演つとめる PARCO劇場で



今月のカンガルー・ノート

苫小牧市立中央図書館@Tomakomai_lib・Sep 18

【#かいわれ大根の日】

「かいわれ大根」と聞くと #安部公房 最後の長編 #カンガルー・ノート を思い出します。

脛にかいわれ大根が生えた男の、夢か現実かわからない物語。読後20年以上たちますが、いまだにかいわれ大根食べるのを躊躇します。気になった方はぜひ図書館へ！

📖 開館いたします 📖

今月の第四間氷期

一宮真

@kazumiyamakoto・Sep 19

安部公房『第四間氷期』(新潮文庫)読了。やー、すごいなこれ。現代社会(といっても1959年)への底光りするような悪意。

「現在は未来を裁けない、未来だけが現在を裁くことができる」

高度経済成長に向かっていく時代に

こんなことが書ける人はなかなかいません。頷くしかないではありませんか。

今月の友達

向暁子@akatsukinimukau・Sep 21

劇団銅鑼ラボ企画

『友達』

作/安部公房 演出/野崎美子

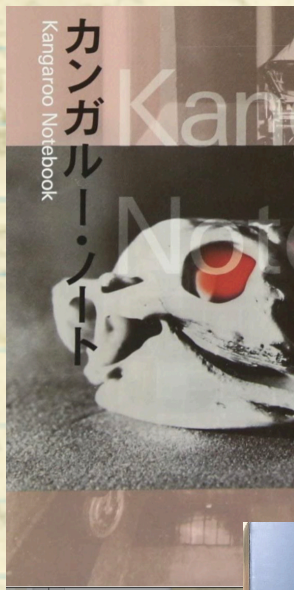
外の稽古場を使って昼から夜までみっちり稽古の日々

昨日最後のシーンまで辿り着きました

不思議な家族の物語

愉快的な座組みで挑みます😊

📖 絶賛発売中!!



📖 Book Station @bookstation1228 · Sep 12

行間にロックが透っている小説①

/ 安部公房『カンガルーノート』

目覚めると、脛にかいわれ大根が生じていた

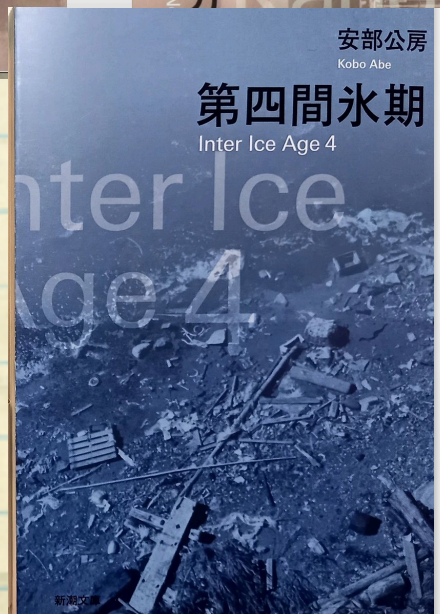
訪れた病院で、生命維持装置付きのベッドにくくりつけられる男

硫黄温泉に向けて自走し出すベッド...

ピンクフロイドの楽曲が彩る
冥府巡りの結末とは？

#読書好きな人と繋がりたい

Show this thread



【劇団銅鑼】金子 幸枝・鶴田 尚子
高岩川 由美・福井 東紀・西 規子
監 演 野崎 美子

2022年	10/26 (水)	10/27 (木)	10/28 (金)	10/29 (土)	10/30 (日)
14:00開演	●	●	●	●	●
19:00開演	●	●	●	●	●

※開演は開演時刻前30分まで
●料金 一般 3,800円(消費税別・全席自由・税込)
※本公演のみの入場はおりません

Handwritten signature: 向暁子

今月の愛の眼鏡は色ガラス

ホッタタカシ@t_hotta・Sep 15

PARCO劇場こと西武劇場は、オープニング記念公演の一つが安部公房スタジオの旗揚げ公演『愛の眼鏡は色ガラス』（1973）でした。「43年ぶり」とあるのは安部スタジオ最終公演『仔象は死んだ』の西武劇場再演（1979）から数えてですね。その間、安部作品がかかることはなかったようです。

Quote Tweet

稲葉 賀恵 Kae Inaba@kae_peony・Sep 15

【演出作品 情報解禁】

PARCO劇場にて 安部公房の『幽霊はここにいる』演出を担当します。あの赤い絨毯とシートが広がる劇場で、43年ぶりの安部公房作品を。主演の神山さんをはじめ、強靱なキャスト、スタッフととびきり面白いものを作りたいと思います。ご期待下さい。 <https://natalie.mu/stage/news/493714>

ホッタタカシ @t_hotta · Sep 15

PARCO劇場こと西武劇場は、オープニング記念公演の一つが安部公房スタジオの旗揚げ公演『愛の眼鏡は色ガラス』（1973）でした。「43年ぶり」とあるのは安部スタジオ最終公演『仔象は死んだ』の西武劇場再演（1979）から数えてですね。その間、安部作品がかかることはなかったようです。

稲葉 賀恵 Kae Inaba @kae_peony · Sep 15

【演出作品 情報解禁】

PARCO劇場にて
安部公房の『幽霊はここにいる』演出を担当します。
あの赤い絨毯とシートが広がる劇場で、43年ぶりの安部公房作品を。

主演の神山さんをはじめ、
強靱なキャスト、スタッフととびきり面白いものを作りたいと思います。
ご期待下さい。
natalie.mu/stage/news/493714

今月の電子書籍化要求

ホッタタカシ@t_hotta・Sep 16

神山智洋のファンが戯曲に興味を示しているようだが、文庫が品切で残念がってるみたい。新潮社はただちに再版するか電書版を出すべきでは。

ちなみに『幽霊はここにいる』は、安部公房全集では第8巻、古い本だけど『安部公房戯曲全集』にも収録されてます。

https://amazon.co.jp/dp/4101121060/ref=cm_sw_r_tw_dp_VH24934ZMXZKT07RZBQS

...

@amazonJP

今月の安部公房

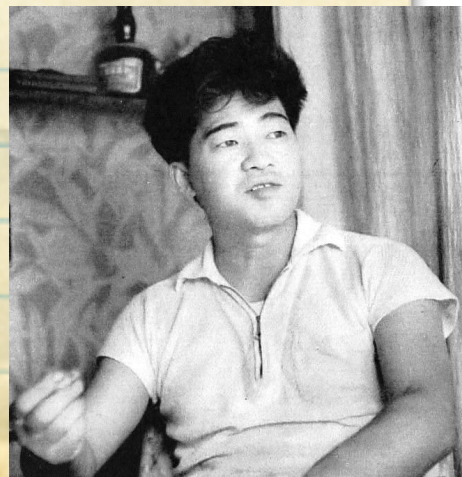
昭和平成ガイド@showa_g・Sep 19

昭和を振り返る画像。

『安部公房の若い頃（30歳ごろ。

『毎日グラフ』1954年9月1日号より）』

プロフィールは→<https://showa-g.org/men/view/68>

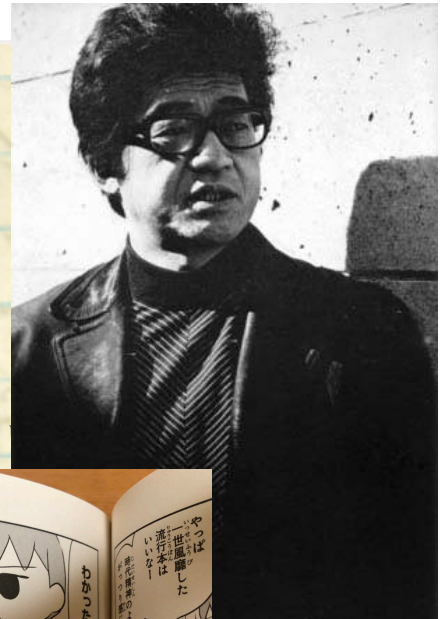


昭和平成ガイド@showa_g·Sep 19

昭和を振り返る画像。

『安部公房』

プロフィールは→<https://showa-g.org/men/view/68>



You-Ich-row@YouIchrow·Sep 21

ところで施川ユウキ氏の描いた安部公房を見てくれ。こ
(私は唐突すぎてかなり好き)

今月の砂の女

けんさん | 日々、研鑽！

@kensanbook·Sep 21

#読了

砂の女 #安部公房

『砂地獄に住む女と、砂地獄に
順応していく男の物語』

砂地に住む昆虫を求めてやって
きた男が案内された宿は、砂の
壁に囲まれた家に暮らす女の家。
そこから抜け出せず自由を奪われ
た男は、やがて砂に埋れた家での
生活に順応していく… 日本の現状
を先取りしたメタファーか？



ルカ@ruka_koupen·Sep 21

安部公房『砂の女』読了しました！

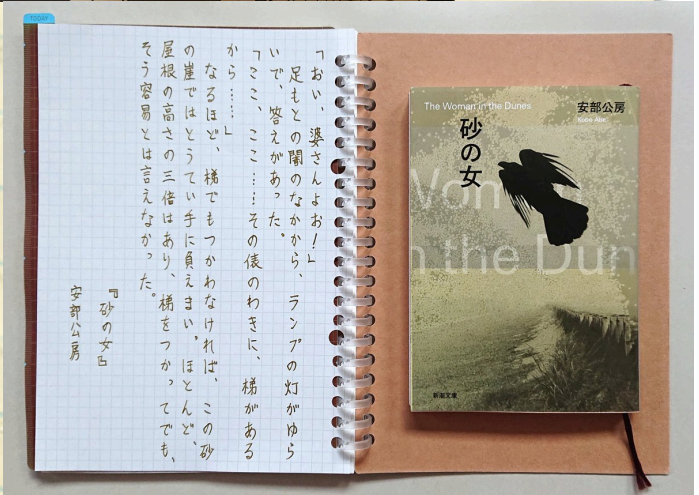
久しぶりにページをめくる手が止まらなかったです

この先どうなるのだろうという小説のもつおもしろさ、作品の随所にちりばめら
れた象徴的な言葉の数々、小説のもつ社会性、そして比喩の巧みさ、どれをとっ
ても圧倒的で、安部公房の世界にぐんとひきこまれました🥰

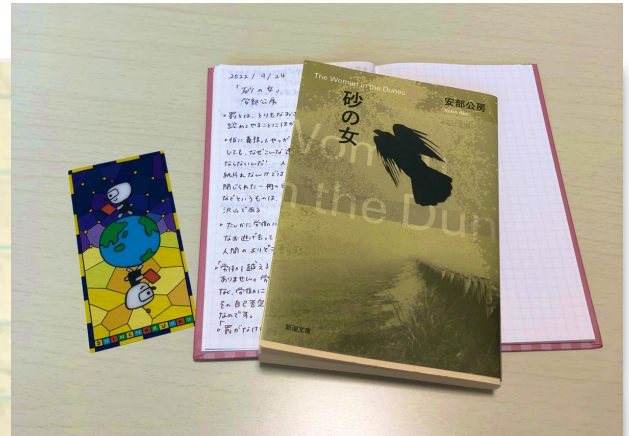
hana@読書/映画@machon22745400·5m

『砂の女』安部公房 理解できた部分とできない部分が半々。

この男が穴から脱出できるのか、できないのか その結果がとにかく気になって
読み進めたけど、「結末、そう来たか。」という感じ。



私的には、よかったな、と思っちゃった。
女性目線だからかな。
…購入特典の葉が可愛い。



メイティムRADIO@matimradio-6m
Buzz..鳥取といえば砂丘！ここでDuneを
出したいけど、安部公房原作の”砂の女”
(勅使河原宏監督)にラヴクラフト”狂気山脈”を感じる ⚡

”はるまげ堂”イン鳥取！buzz..
MATIMも岸田今日さんの声で宣伝したいっす…buz.

メイティムRADIO
@matimradio-2h
Buzz..おー！鳥取砂丘と言え
ば、岸田今日子さんが蟻地獄の
ように住う、
名作”砂の女”(原作/安部公房、勅使河原宏 監督作品)
ロケ地やー



🙊
ある意味で…ラヴクラフト。狂気砂丘か！
その辺りに岸田今日子さん居ませんか？
<https://youtu.be/7rT7YvhJtJY>



今月の旭川鷹栖安部公房の会)

柴田望★9月17日、旭川にて鎌田東二
先生の講演&朗読&笛吹奏イベント ✨

@NOGUCHIS7-Sep 22

【旭川中2いじめ事件について】 柴田望 ～常識は変わる 富田正一 小熊秀
雄 高野斗志美 安部公房 文学の街・旭Asahikawa川～ 令和3年度旭...

<https://youtu.be/uEBpNpSA6BY>

@YouTubeより

<https://www.youtube.com/watch?v=uEBpNpSA6BY>



今月の安部公房論

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.11h

所有の始原：安部公房「赤い繭」論

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520290884692621696>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.6h

〈オブジェ〉達の革命：花田清輝と安部公房「壁：S・カルマ氏の犯罪」

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390290698568011008>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 22

安部公房『壁--S・カルマ氏の犯罪』における「ぼく」から「彼」へ

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520009410628657920>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 19

鳴り響き続ける「ぼく」：安部公房『カンガルー・ノート』試論

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390572174739280256>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku・Sep 20

劣性の思想--安部公房『カンガルー・ノート』論

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390009224762819072>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 21

流動と反復--安部公房『砂の女』の時間

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520290882889926528>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 17

狂気の躍動--安部公房『密会』（特集〈精神病院〉の文学）

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1523669555269821696>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 16

地図と契約--安部公房『燃えつきた地図』論

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520853833321009408>

詩的文学論文bot@shiteki_bungaku.Sep 18

安部公房『第四間氷期』--水のなかの革命

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1050001202480283392>



もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中壘筆宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

(1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）

(2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）

(*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

(1) 安部公房の読者

(2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。

(3) 年齢：不問

(4) 性別：不問

(5) 国籍：不問

(6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。

(7) 提出文書のフォーマット：pdf

(8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6. 応募名：

(1) 本名を名乗つてはならない。

(2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。

(3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可

(4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7. 選考委員：

(1) もぐら通信の全ての読者

(2) 国内外の読者を問はない。

8. 作品の公表：

(1) 編集部には到着後都度読者に配信します

(2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9. 評価方法・評価基準：

(1) 安部公房の同社としての選考委員の独自の判定基準に委ねる

(2) 採点の範囲は、1点から10点まで

(3) 最終的な判定は、もぐら通信編集員及び発行人が各作品に下す

10. 評価・選考のためのネット選考会月次開催

これは都度案内します

11. 賞金：10万円

最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12. 将来の展望：

ノーベル文学章の日本円換算1億円以上にします

以上

巻頭詩

(46)

ナンタケット島

ロバート・コンクエスト

翻訳 岩田英哉

ROBERT CONQUEST

NANTUCKET

It lay in the mist or the wind.

Perhaps Karlsefni saw it to starboard
On the voyage to Hóp from Straumfjord.

Fishermen, farmers and theologians
Settled the swept bay and the crescent bluffs.

And then its attention was filled with whales.
A blunt, chipped sickle: it reaped the sea.
Oh that was an astonishing empire!
All the oceans gave up to its hunters
Dangerous and profitable monsters.
Folgers and Husseys, Starbucks and Coffins,
Branded the salt wrath with their keels and spears.

Melville chose them, the boldest men on earth,
To be his champions on the demon seas
Of his heart. Even they succumbed.
Ahab died. The waters washed
The ruined survivor to another coast.

The whaling went elsewhere, to techniques and
guns.
And the island lies in its parish, weather and past.

【和訳】

ナンタケット島

それは、霧か風の中にある。

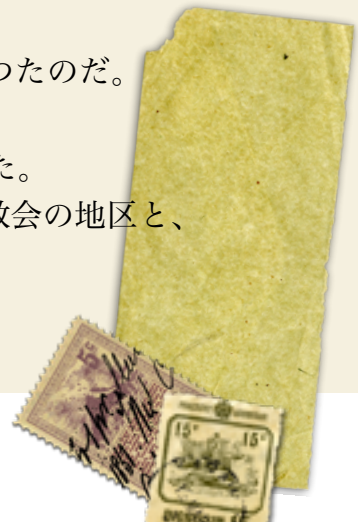
ひよつとしたら、カアルスエフニィは、船の右側に其れを見たのかも知れぬ、
ストロームフィヨルドからホプへの航海の途上で。

漁師たち、農夫たち、そして神学者たちは
綺麗に何も無い湾に住み着いて、三日月形に立つた船首を其処に落ち着けた。

そして、そこで次に、その船の注意は鯨に満たされた。
鈍い、刃物で打たれた傷のある三日月の鎌、つまり其れは海を収穫したのだ。
ああ、なんといふ驚くべき帝国だ！
全ての海といふ海が、狩人たちに対して
危険ではあるがしかし利益をもたらす怪物たちを差し出すのだつた。
フォルガースーとフッセイズに、スターバックスにコフィンズといふナンタケット島の漁師の一族の者たちは、
塩辛い怒りを、竜骨と槍で焼印して紋章で、刻むのだ。

メルヴィルがこれらの地球上で一番勇敢な男たちを選んだのは、
この作家の心臓に棲む悪魔の海たちの上に、そのチャンピオンとするためにである。たとへ、男たちが最高の能力を発揮したとしても、
エイハブは死んだ。海は、
別の岸辺に流れ着いた破船して生き残つたものを洗つたのだ。

捕鯨の旅は技術と銃砲に応じてどこにでも出て行つた。
そして、このナンタケット島は、牧師に委ねられた教会の地区と、
天候と、そして過去の中にあるのだ。



【鑑賞と解釈】

この詩を理解するには、アメリカの建国時に戻つてマサチューセッツ州にあるナンタケット島のことを理解しなければなりません。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ナンタケット>

このWikiにメルヴィルの『白鯨』に関する記述がある：

「ナンタケットは、かつては世界有数の捕鯨港だった（そして今なお小さな漁業の母港である）。ハーマン・メルヴィルはナンタケットの捕鯨における圧倒的優位性について『白鯨』14章の中で次のように記している。「この水陸から成る地球の3分の2はナンタケットのものである。海はナンタケットのものである。皇帝が帝国を所有するように、ナンタケットは海を所有する。」("Two thirds of this terraqueous globe are the Nantucketer's. For the sea is his; he owns it, as Emperors own empires.")」

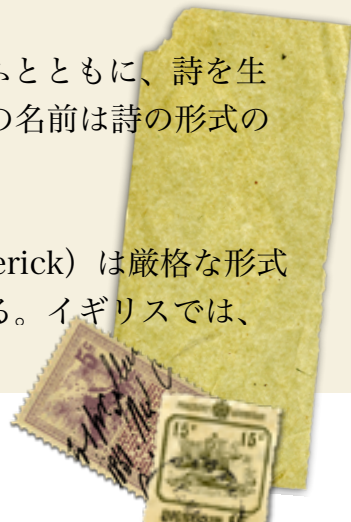
この引用を見ると、詩の中に使はれてゐる言葉のあるのが分かる。捕鯨、地球 (on earth)、帝国と皇帝と、ナンタケットの所有する海と。

そして、Wikiには更に次の記述がある：

「ナンタケットはファンタジーの故郷である。「かつてナンタケットからきた一人の男がいた」("There once was a man from Nantucket") というフレーズは、あらゆる詩の中で最もなじみのあるものの一つであるリマリック (リマリックには下品なものもある) の冒頭行に数多く用いられ、有名となった。」

ナンタケット島はアメリカ人にとって何か郷愁を誘ふとともに、詩を生み出す故郷でもあると見える。リマリックといふ上の名前は詩の形式の名前で、

「リメリック (またはリマリック、リムリック、limerick) は厳格な形式を持つ五行詩で、滑稽五行詩、五行戯詩とも呼ばれる。イギリスでは、



エドワード・リアによって広まった。リメリック詩はウィットに富んだものやユーモラスなものであることが多く、時には笑いを目的とした猥褻なものもある。」とあります。

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/リメリック>)

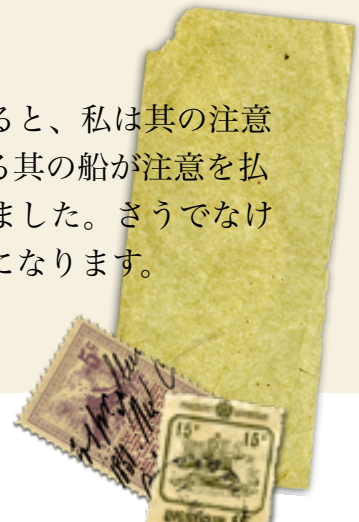
そして、第二連にある名前、カアルスエフニィは11世紀にアイスランドやグリーンランドに航海して仲間を引き連れて移住を試みたThorfinn Karlsefniのことなのだと思います。この男は北アメリカの探検家といふことなのだ。とすると、この詩は移住と定住と海の男たちと其の航海と、それから冒険家といふ、アメリカ建国以前のアメリカ大陸の歴史の海の話から説き起こしてナンタケット島といふ昔は捕鯨で栄えた港町のある島を歌つたものだといふことが解ります。恐らく、アメリカ人ではないイギリス人である此の詩人が何故この詩文を歌つたものか。私の解釈は後述します。

いづれにせよ、第一連をなす一行と第二連は、カアルスエフニィの航海を歌つてゐる。きつと、この冒険家は「ストロームフィヨルドからホプへの航海の途上で」「船の右側に其れ [ナンタケット島] を見たのかも知れない。

第三連の「三日月形に立つた船首を其処に落ち着けた。とある此の「三日月形に立つた船首」の三日月も、月は潮の満ち引きを引き起こしますから、島に投錨するのに適した時が、満月の後の三日月の月の時であったことを意味してゐるのかも知れない。さうして、船首の形もよく私たちが西欧の古い映画や絵画で見るやうな龍骨の船首に立つた典型的な古いヴァイキングの船の形をしてゐる。

きつと「漁師たち、農夫たち、そして神学者たち」を引き連れて上陸したのだ。

第四連の一行目の its attentionのitsは、かうして見ると、私は其の注意と訳しましたが、カアルスエフニィ一行の乗つてゐる其の船が注意を払ふと解するのが良いのではないか、さう意味を取りました。さうでなければ船の着岸したナンタケット島自身だといふことになります。



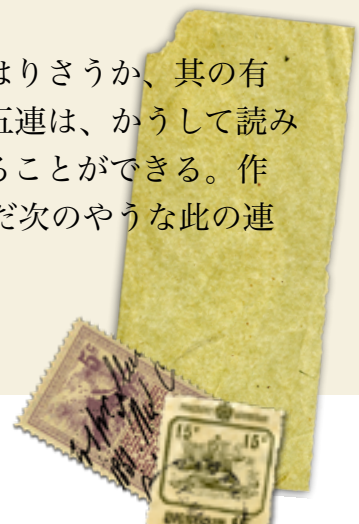
さうして、「鈍い、刃物で打たれた傷のある三日月の鎌、つまり其れは海を収穫したのだ。」といふ意味は、この航海して来てナンタケット島に辿り着いたわけですから、航海での様々な傷が三日月の船首に刻まれてみて、その苦難を忍ばせるが、しかし、その船首を廻してそのまま捕鯨をしたのだ、といふ意味です。ナンタケット島の海には鯨が沢山いたので

さうして、その捕鯨の豊さを捕鯨の帝国といふ意味でありませうから、其のやうな修辭をして島を寿いだ。驚くべき帝国である！、と感嘆符を付して。また、此の島には、海といふ海で捧げ物をせぬ海はない、とあるからには、鯨以外の魚介類も当然に沢山豊かに採れたのでありませう。大物の魚で獲るに難儀するが、しかし其れ故に高く売れる海の幸を、詩人はDangerous and profitable monstersと表現してゐます。

調べると、フォルガースーとフッセイズに、スターバックスにコフィンズといふ家族・一族の分家の名前は、後にコーヒー事業で成功したナンタケット島の漁師の一族の者たちで、このうちスターバックスといふ名前の人物はメルヴィルの『白鯨』にも登場して（あるいは他の名前も多分）、今では日本でもコーヒー・チェーン店の有名な名前として広まっております。しかし、詩人は此のコーヒー事業までを念頭に置いてゐるわけではないので、此処に註釈として残し、詩行は上記の通りの普通の訳としました。

「塩辛い怒りを、竜骨と槍で焼印して紋章で、刻むのだ。」とあるのは、これら一族の紋章が竜骨と槍で構成されてゐるからでせう。塩辛い怒りと訳したthe salt wrathは、海の波の激しさと其れに打ち勝つて漁をする海の男の様子を紋章と二重写しにして、これもこの一族を褒め称へてゐる、寿いでゐる。

第五連で、これら一族の名前をメルヴィルは、やはりさうか、其の有名な小説に書き記したのである、といふのです。第五連は、かうして読みおろして来ると、メルヴィルの小説への讃歌ともとることができる。作家自身が海に出て実際に捕鯨をしたことも織り込んだ次のやうな此の連をかうして味読することは文字通りに味はい深い。



「この作家の心臓に棲む悪魔の海たちの上に、そのチャンピオンとするためにである。たとへ、男たちが最高の能力を発揮したとしても、エイハブは死んだ。海は、別の岸辺に流れ着いた破船して生き残つたものを洗つたのだ。」

海で死のうが、岸辺に流れ着かうが、いずれも海の男の人生である。

かくして、最後の連は、鯨を取るなら大洋のどこへでも行くぜといふ海の男の心意気を示してゐる。さう捕鯨技術とぶっ放す銃砲の生きるどころ何処にでも。

さうして、最後の一行は、再びカアルスエフニィの航海へと回帰して、この航海を、「このナンタケット島は、牧師に委ねられた教会の地区と、/天候と、そして過去の中にあるのだ。」と締めて、海の男たちの生きた人生と海の上での死への記念碑としてゐる。何故ここで牧師が此の教区に必要かといへば、それは漁師は海で死ぬことがよくあるからであり、その死を弔ふために、「漁師たち、農夫たち、そして神学者たち」と同格で神学者といふ名前が挙げられてゐることが歌はれてゐる第三連を最後の一行で受けて、海の男の人生を読者の理解に供してゐる。

今この詩人の経歴を見ますと、生まれはアメリカカのヴァージニアであり、長じて後にはイギリスへ渡つて、オックスフォード大学を出て、その後、ソフィア（ブルガリア）、ニューヨーク（アメリカ）、ロンドン（イギリス）と渡り歩いてゐる。最後のロンドンに定住した様子です。これも一つの航海であるでせう。アメリカのヴァージニア、ブルガリアのソフィア、またアメリカのニューヨーク、そしてイギリスのロンドンといふ経緯は、細かな事情は知りませんが、何か非常に特別な此の詩人の人生を思はせます。さうして、この詩人の詩に対するものの観方に傾聴することは意味のあることとせう。このやうに述べてゐる。この言葉は人間の理解し合ふといふコミュニケーションに苦勞をし、心を砕いて生きた人のものです。この人はその意思疎通のための媒体であると定義する其の詩文といふ範疇の言語藝術に対して、この媒体は意思疎通のためには、rediteであるといふ更に定義をいふのです。



My views on Perry are in noway recondite.

私の詩文についての観方は、他のことは知らず、ただただreconditeであるといふことだ。

教養のある詩人ですから、この詩も簡単ではなく。イギリスの詩人であれば尚一層言葉の意味を重奏的に使ひ、形象を重ね合はせて簡潔に且つ多義的にナンタケット島といふ島を巡る物語を実のあるものにしてみます。今reconditeといふ馴染みのない言葉をWebster Onlineに尋ねれば次のような意味である。

recondite adjective [形容詞]

Synonyms & Antonyms of recondite [reconditeの同義語と反意語]
difficult for one of ordinary knowledge or intelligence to understand
geochemistry is a recondite subject [普通の知識や知性では理解することの難しいといふこと。例：地球化学は、厄介な、一筋縄では行かぬ主題だ。

ただの知性があるだけでは理解の難しい詩が、この詩人の狙った詩であるといふことがわかり、確かにその通りの詩文になつてゐます。

Synonyms for recondite [reconditeの同義語] は、
abstruse, arcane, deep, esoteric, hermetic (also hermetical), profound
[難解な、門外漢には理解し難い、深い、秘伝的な〔書物・文体・隠喩・研究など〕難解な、〔テーマなどが〕深遠な、深くて、解釈が多義的で (hermetic/hermetical)、深淵 (profound) である]

といふこのような意味です。上では、其れ故に一語の日本語にはなりませんでしたが。以上の同義語に対して反意語を見ると逆に意味がよくわかります。

Antonyms for recondite [reconditeの反意語]
shallow, superficial [浅い、表面的である]



確かに此の通りの詩で、連想豊かな、そしてナンタケット島を巡る歴史とメルヴィルの『白鯨』といふ古典を理解してゐることを前提にして、これらの史実と虚構に思ひを致し、そのまま詩文の全体を深く味読するに足る詩です。如何。



コーボー・ベーシックス

kobo basics

(7)

トポロジー

岩田英哉

安部公房と云へば、トポロジー、文学の世界で普通はこんな組み合わせはないのです、唯一安部公房だけですが、トポロジーと云へば安部公房なのです。この数学の愛好者である安部公房像を、作家本人が隠して表に出さなかつたことは、リルケの場合と同じで、1970年代の散文から詩文への回帰、リルケへの回帰のあとに安部公房はリルケの『オルフェウスへのソネット』を再読してゐて、そこから発想を得て阿部工房スタジオのための戯曲に仕立てたといふことは、私のか『オルフェウスへのソネット』を読むのシリーズで論じた通りです。このリルケのやうに、此れは十代に読み耽つた、惑溺したといふべき詩であり詩人ですが、全く同じく十代の成城高校時代には既に親しんでゐたトポロジーなのです。以下、以前の論の当該部分を「『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について』の中の「I 安部公房の自筆年譜と『形象詩集』の関係について」（もぐら通信第56号）より」引用します。

「18歳の論文『問題下降に依る肯定の批判』に書かれた、既に此の時安部公房らしくも名前こそ表には出さね、topology（位相幾何学）[註]による「遊歩場」といふ道即ち「此の道は他の道とははっきりと区別されて居なければいけない。第一に此の遊歩場はその沿傍に総ての建物を持っていなければならぬ。つまり一定の中とか、長さ等があつてはいけないのだ。それは一つの具体的な形を持つと同時に或る混沌たる抽象概念でなければならぬ。第二に、郊外地区を通らずに直接市外の森や湖に出る事が出来る事が必要だ。或る場合には、森や湖の湖畔に住まう人々が、遊歩場を訪れる事があるからだ。遊歩場は、都会に住む人々の休息所となると同時に、或種の交易場ともなるのだ」といふメビウスの環（二次元）やクラインの壺（三次元）の接続点と接続面の抽象的な空間を密かに核心とした都市設計（全集第1巻、13ページ上段）のことが、その都市のtopologicalな道といふ建物と建物の隙間に棲む超越論的な人間である「此の遊歩場の沿傍に住まう人々」である大勢の箱男のことが（全集第1巻、13ページ上段）、「実を云えば現代社会はそれ自体一つの偉大なる蟻の社会に過ぎないのだ。無限に循環して居る巨大な蟻の巣」であるといふ閉鎖空間である社会のことが（全集第1巻、13ページ下段）、topologyが閉鎖

空間を脱出する「雲間より漏れ来る一条の光」であることが（全集第1巻、12ページ上段）、topologyを応用して時間の中で「今こそ君は自由な」身になるために「動かなくてはならない。そして動かさなければならない。手を、指を、そして目と鼻を」（全集第1巻、15ページ上段）といふ実践的な問題下降の方法が、さうして現実の問題解決のために「問題を下降させるにも上昇させるにも」必要な方法論としてある此のやうな威力を有するtopologyのこと、即ち「問題下降に依る肯定の批判」のことが書かれてあります。これを精緻に理論化して完成させたのが、「一種の高次的下降」について論じた（全集第1巻、14ページ上段）、20歳の論文『詩と詩人（意識と無意識）』（全集第1巻、104ページ上段）、即ち安部公房の基本ソフトウェア、即ちOS（Operating System）です。

[註]

トポロジーは日本語では位相幾何学と呼ばれてゐる：<https://ja.wikipedia.org/wiki/位相幾何学>

上記の引用は成城高校時代の論文から引用した文章ですが、しかし、下記の後年の文章を読むと、もつと以前の奉天の小学生・中学生時代に此の数学に出逢つたのかも知れないのです。

「記録と写真」に次の言葉がある（全集第7巻、139ページ）：1957年4月21日

「こどものころ、はじめて「非ユークリッド空間」というものの存在を知ったとき、私はひじょうな不安ととまどいを感じたものだった。私にはまだ、現実そのものと現実の説明とを、区別する方がなかったのだ。平行線が交わる世界と、交わらない世界とが、同じ一つの世界であり、それぞれその同じもののがった説明にしかすぎないなどという考えにどうしてもなじむことができなかった。」

さて、その上で、トポロジーといふ数学を安部公房の作品で知ることのできるのは、やはり人間そつくりの火星人の登場するtopology小説『人間そつくり』です。火星人は「人間」といふ訳であり、人間は「火星」だといふ訳です。どちらが本物でどちらが贋物なのか。いつもの安部公房の主要であり重要な創作のモチーフ（動機）です。メビウスの環の数学（二次元の場合）であり、ク

ラインの壺（三次元の場合）の数学であり、安部公房の作品はいつも最初に戻って来て、その地点がメビウスの環になつてゐて、そこで主人公はいつも、これも例外なく失踪して消えてしまふ。《 》の記号は、これも既述のところですが、安部公房独自の存在論の記号ですから、この中の語は時間の中の日常の言葉の意味ではなく、時間を捨象した幾何学的な存在の世界の意味になるのです。

「それ、なんなの？トポロジー、トポロジー、と、しきりに言っているけど、さっぱり、どうも、その方面のことにはうとくてね。」

「要するに、ほら、位相幾何学のことですよ。」

「そう言われても、残念ながら、ぼくの知識はやっとこさ球面幾何どまりなんだ。」

「これは失礼……なあに、原理はひどく単純素朴なものでしてね……一と口に申せば、《そっくり》の数学とでも言いますか……つまり、《人間そっくり》の、《そっくり》ですね。従来の数学では、イコールで結ぶことなど思いもよらなかった、たとえば、野球のバットと、ボールのようなものでも、トポロジーの世界では、ともに一次元ベッチ数がゼロの、ホモロークな球面ということで、イコールになってしまう。（略）」（『人間そっくり』全集第20巻、304ページ）

この『人間そっくり』のホモロークといふ数学的概念を、そのまま閉鎖空間に適用すると、メビウスの環の結び目、接続線（メビウスの環）または接続面（クラインの壺）のところで消失し失踪する主人公の物語の結末となり、それは変形による脱出といふ形象と相俟つて、最初期の傑作『S・カルマ氏の犯罪』から最後の『カンガルー・ノート』に至るまで、当然に其の中間時点にある此れも傑作『箱男』の名を挙げるまでもなく、全て閉鎖空間の隙間から（例：窓）から自ら変形させて其の自分である人間からあの自分である 自分' へと脱出する話です。あるいはこの脱出は、自分' といふ夢見られてゐる自分から夢見てゐる 自分 への脱出かも知れないのです。此れは優れたエッセイ集『笑う月』に収録の夢の話を読めば、私たちには親しいものです。

時間を少し戻して、話を『方舟さくら丸』に戻せば、このトポロジーによるホモロークといふ概念を次のやうに述べてゐます。『安部公房はいつまでSF小説の世界と交流があつたか』（もぐら通信第63号）の現代はシミュレーションゲームの時代より引用します。箱根隠棲の10年とは、安部公房スタジオの活

動休止の後の最後の13年間の時代のことです。

「さて、これらの総体が箱根隠棲の10年であつた。さうだとして、安部公房の内面の宇宙は、やはり読者の常でありまた務めとして、作品を読む以外に知る道はないのです。

なんだか、平凡な結論となりました。しかし、安部公房は鋭い。この時期の名著『方舟さくら丸』で昆虫屋のいふ、

- (1) 現代はシミュレーションゲームの時代であること。
- (2) 現実の記号の混同がおこったり、
- (3) 一種の閉所願望、トーチカ願望がある

といふこれらの科白は、二十一世紀の今日も通用してゐるのではないでせうか。

これらの問題提起へのあなたによる回答は、あなたが「自己閉鎖生態系」に生きるユープケッチャになつて考へる以外にはありません。どうでせうか。あなたもユープケッチャといふ（『砂の女』の贗ニワハンミョウと同じ）予（あらかじ）め失われた案内人に、即ち人間ならば「人間そつくり」の人間（simulated/simulating man：模擬人間/モドキ人間）に、なつてみては。」

安部公房の昆虫屋のいふ「(1) 現代はシミュレーションゲームの時代」だといふシミュレーションは、時代を少しズラすことを意味しますから、時代そつくりの「時代」の創造を意味してゐますし、「(2) 現実の記号の混同がおこったり」とは、《現実》と現実の記号の有無による混同の起きることをいひ、「(3) 一種の閉所願望、トーチカ願望がある」とは、私たちが安部公房の全ての主人公と共有してゐる閉鎖空間願望と其処からの脱出元興のことを言つてゐます。閉所願望は前者、トーチカ願望とは外部への脱出のための意思疎通です。箱男は外部から逆に空気中で撃たれたことの逆の方向を、安部公房は述べてゐる。

この三つのことは、結局いづれも同じことの3面を言つてみて、(1) はトポロジー、(2) は火星人と人間そつくりの混同を、(3) は脱皮願望を述べてゐると解して良いとしても、此れは何も安部公房の個人的趣味嗜好の問題なの

では全然なくて、どの時代に生まれても人間の根源的にもつてある欲望であり願望であり希望であり、そして絶望であるといふ普遍的な思考と時代と心理の襞を丁寧に洗ひ出て、私たちの前に示してくれてある安部公房の言葉なのです。安部公房には『あなたにトポロジー的哄笑を一帰属本能への挑戦小説「人間そっくり」』といふ短いエッセイがあります（全集第20巻、492ページ）。ここに作家の此の小説にトポロジーを表立つて導入した意図が語られてゐます。御一読下さい。今の時代に必要なトポロジー的笑ひと黒いユーモアこそ、安部公房文学の真骨頂です。少しだけ最後の段落を引用してみませう。

「いま一つ、広告をさせていただければ、それはトポロジー（位相幾何学）理論を小説の中に、それも単に飾りとしてだけでなく、テーマを展開させるための重要な手段として、取入れてみたことでしょう。トポロジー理論を応用してみると、たとえば「日本人とは何か」といった式の書物の本質が、その科学的な解答よりも、しばしば別の動機によって、読者におもねり、媚びているにすぎないことがよく分かります。この思考の解毒剤は、たぶんあなたにも、よき贈り物になってくれるでしょう。現代人に必要なのは、まずトポロジー的笑いなのだと、ぼくは強く信じているのです。[1967.4.1]」

（全集第20巻、492ページ下段）（傍線部は原文傍点）

今のこの令和の時代の、第三次世界大戦と核戦争の勃発の噂の飛び交ふ国際世間の流言飛語の洪水の中で、『方舟さくら丸』を読むことは意義ある行為です。たとへ、読書中に核ミサイルがあなたの頭上に落下したとしても。この問題を安部公房は既に成城高校時代に答へを出してゐることについては、また後々のコーボー・ベーシックスにてお話します。

『都市への回路』論

(15)

(3) 写真について[視覚の小説『箱男』]

①写真について

岩田英哉

目次

(1) 小説『密会』をめぐる[聴覚の小説『密会』]

- ①病院という舞台
- ②強者と弱者
- ③逆進化の逆説
- ④現代小説の陥穽
- ⑤マルケスとポー

青字がこれまで論じて来た項目、赤字が今回論じる項目、黒字はこれからのものです。

(2) 演劇について

- ①アメリカの『友達』
- ②演劇の現代
- ③夢と俳優
- ④デジタルとアナログ

(3) 写真について[視覚の小説『箱男』]

- ①写真について
- ②覗きの構造
- ③廃棄物
- ④盗聴とセックス

(4) 音の領域

- ①音楽の時間
- ②抒情の効果

(5) 都市に向って

- ①花田清輝
- ②国家と暴力
- ③都市に向って
- ④祭りへの不信

(3) 写真について [視覚の小説『箱男』] / ①写真について

舞台と台本の関係から、安部公房と写真の関係についてインタヴューは話を進めます。そして、写真といへば、1973年に発表の『箱男』に言及し、作家自ら撮影した写真8枚と、このインタヴュー前の1月に開催された「「カメラによる創作ノート」と銘打った写真展をスタジオで開かれた」ことについて言及した後に、何故作家がこれほど迄に写真に熱中するのかを質問してみます。確かに、この写真とは安部公房の詩の世界であることからいつても、この作家の活動の本質的な領域であることは論を俟たないことは、安部公房全集の出で全体を俯瞰できる場所にある私たち読者にはよく理解のできることなのです。

安部公房は奉天の子供の時代から父親の浅吉に写真撮影と暗室での現像の手ほどきを受けてみます。そして、作家の死後に或る雑誌で作家の所有してゐたカメラの特集で娘のねりが曰く、写真は趣味だと思つてみましたといつてゐる位ですから、家族にも正しく理解されてゐなかつた。

写真を再開して、それを大つぴらに藝術活動の中で展開したことは、安部公房の写真の性格からいつて、詩の本質への回帰といふ私の見立てもやはり間違つてゐないと思はれます。再度「安部公房の人生表」に立ち帰つてみて下さい。次の発言をみると、確かに安部公房の写真は十代の超越論の詩文と同様に、安部公房独自の言ひ方を此処ですれば、「時間の空間化」であることが解ります。此れは当時安部公房スタジオの俳優たちに演技指導した指導理論の中核概念ニュートラルそのものです。

「カメラというものが、今はべらぼうに普及してゐるから、いまさら驚きは何もないけど、カメラがなかつた時代には、ある時間を停止させて永続性を与えたいという願望は強烈だつたはずだ。それは自分の能力の拡大の願望でもあつた。」（傍線引用者）

この引用のすぐ後でアルタミラの洞窟絵にも言及して論を一般化して絵画といふ藝術範疇に同じ機能を見つけて、「事物は変化するが人間はそれに追いつけない。（略）とどめることによって、それに追いつくことができる。そして、追いつくという状態をくり返すことができる。」と言つてゐる。「だから、写真に対する願望は、写真が発見されるずっと前からあつたに違いない。」

「（略）その写真がここまで普及してし

まって、いまや日常茶飯の存在にすぎない。流れてゆく時間を空間の中にとどめるという作業がなんでもない事になつたので、今度は、その写真の機能で

もって何か出来るかという問いが逆に生まれてくる。

言語の場合も同じだと思ふんだ。（略）」（傍線引用者）

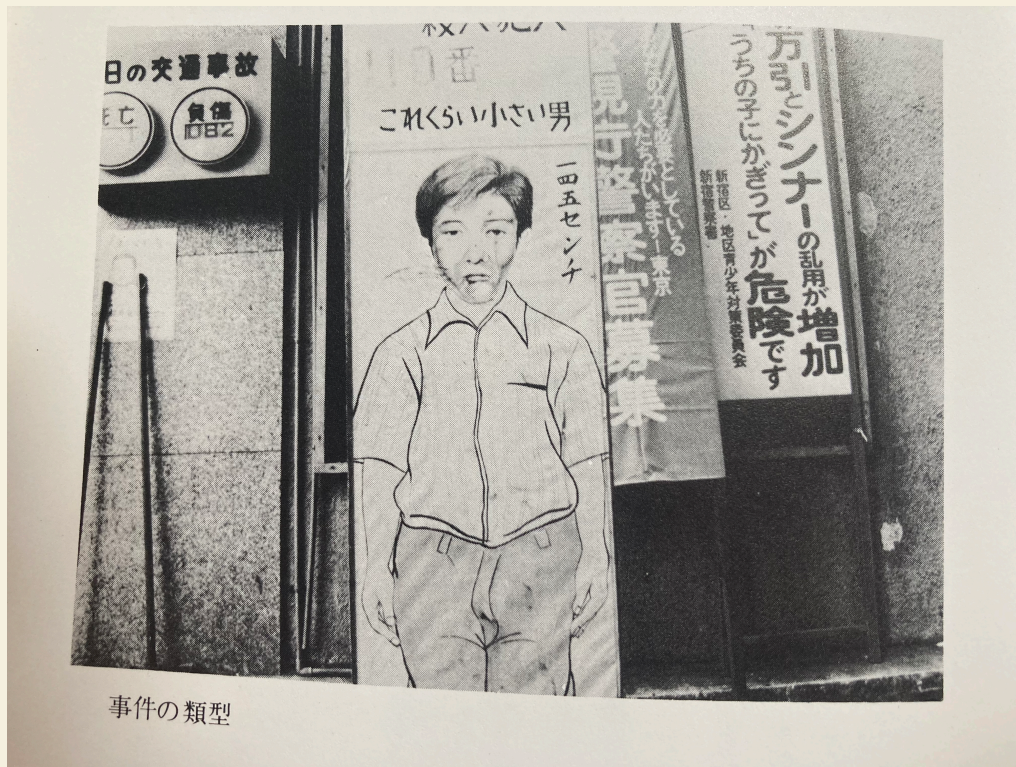
この引用の最後の言葉で、安部公房にとつての写真の撮影は言語の場合と同じだと解ります。そして続く、次の言葉は安部公房の小説に関する解説となつてゐて、何故『箱男』に8枚の写真を挟んだのかといふ問に対する作家による解説になつてゐます。

「しかし、僕自身にとって写真はそんなにややこしい問題じゃない。僕は、時間の中で変形してゆく空間、結果だけ求めているときには、なにもないに等しいような変形のプロセス、それに非常に興味をもっている。そして、もちろん文学の場合でも同じ興味をもっている。写真というものは、そういう関心にとってはまことに都合のいい道具なんだ。だから、いわゆる芸術写真風なものよりも、僕にとってはむしろ自分の意識しないような瞬間の切り取り、つまりスナップ・ショットが、何よりも重要な行為なんだ。」

この箇所を読むと、安部公房はスナップ・ショットとしての写真を自分の小説の手段として活用してゐたことが想像されますし、実際上の引用の後でさう述べてゐる。さうなれば『箱男』の各章が、なるほどスナップ・ショットの、即ち時間の空間化によつて時間の存在しない空間的な且つその変形の、そして変形する空間内での変形即ち登場人物たちの脱皮と脱出の物語だと、ここで合点が行くのです。確かに、スナップ・ショットは「何よりも重要な行為」です。何故ならば、安部公房にとつては創作のための消えぬ記憶が記録としての写真だからであり、「たとえば、八年くらい前に写したフィルムを持ち出してきて引き伸ばすと、どこで写したかすぐに思い出すんだ。ところが、町を歩いていて非常に印象に残る情景があつても、それは時間と共に消えていって何も残らない。」といふ次第だからです。

私たちは、この記憶としての記録といふ此の観点から、1950年代の「記録芸術の会」での安部公房の《ドキュメンタリー》芸術の主張の意義と意味を此処で改めて知ることができるとに気づきます。この写真と同じ効用を、安部公房は「いつもポケットにメモ帳を入れている」といふメモ帳に、また「テープレコーダーを持ち歩いている」といふテープレコーダーに見てゐます。これらは皆、記憶としての記録といふことでは、いづれも同質であり、同じ意義を有する媒体なのです。これによつて、何故安部公房は廃墟の写真やゴミ捨て場

の写真を好んで撮影するのかといふ其の動機についても、私たちは知ることが出来るのです。これらの捨てられたものたちを撮影することは、安部公房にとっては、普通の人がドキュメンタリーの名の下に現在の時間の中に撮影するのは《ドキュメンタリー》などでは全然、そもそも、なく、失はれたものの記憶を記録するための手段であり媒体であるものが写真であるのです。此処で、読者は、安部公房の小説の全ての案内人が「あらかじめ失はれたもの」であることを思ひ出して下さい。此処で挿入されてゐる作家自身の写真もまた、全てその文字を読むと、「あらかじめ失はれたもの」である。



安部公房によれば、『第四間水期』を知つてゐる私たちがなれば、警察官の募集もまた、これから未来からやつて来る、しかし今現在には既に「あらかじめ失はれたもの」としての、存在への案内人である《警察官》なのです。「うちの子にかぎって危険な」「万引きとシンナー」遊びをする子供もまた「あらかじめ失はれたもの」としての未来ある筈の《子供》の増加なのである。いや、安部公房ならば、『仔象は死んだ』に倣つて安部公房の用字に従ひ《子供》と表す方が正しいでせう。この《子供》たちは、未来に起きることを予言して今それが事実として起こしめることの出来るあの予言機械である。

このやうにスナップ・ショットでカメラのファインダーの枠から覗いて見えて

撮る写真の意義を、安部公房は「意味を形成する以前の記号が露呈してくるといふことだね。」といつてゐる。つまり、この「以前」といふ言葉を使用した場合には、初期安部公房の時代から常に例外なく、此れはそもそものことに回帰して、一切の時間を捨象した空間的な幾何学的な、だから「時間の空間化」を図ることが優先する、超越論の詩の世界に思考が沈潜することを意味してゐることは、あちこちで述べてきた通りで、此処でも同じです。此処でわかることは、意味の形成は時間の中で行はれると考へてゐることが判ります。「意味を形成する「以前」」には言葉にならない、言葉「以前」の沈黙の言葉、即ち記号が、露呈するといふのです。このことを意味といふ差異の凸凹がない以上は、この超越論の、そして安部公房の汎神論的存在論の世界では「フレームをつけて均質化すると、本来の目的からすると見る必要のなかった、まだ意味を与えられていない部分が磨ぎ出され、取り出されてきて、新しくそれに名前を与えるというか、意味づけするというか、そういう衝動を自分の中に引き起こすでしょう。対象がよりアクチュアルになる。額縁という言葉はよく悪い意味で使われるけど、実際には逆なんだな。」

この同じ均質な平面の上に並ぶ、あるいはみなその超越論的な場所では均質になるので、そのやうに凸凹あるものも並べられるとさうなるので、上記の引用の少し前では「箱男が箱の窓を額縁にしてのぞいたとたんに、風景の要素が変わってくる。風景のあらゆる差異が均質となって全部同格の意味をおびてくる。」と簡潔に要約してゐる。

これによつて、『箱男』についてよく言はれて、余りにも通俗的な主題項目の一つに墮してしまつたときへ、私の目には見える「覗く」「覗かれる」といふ主体・客体の問題、主観・客観の問題が、ここで話題となつて、インタヴューアの促しに従つて、作家は次のやうに回答するのです。此処で、この主観と客観、主体と客体の問題は、言語表現上の、文法でいふ話法の問題に還元され、または位相を転じて語られます。此れは小説にとつて非常に本質的な問題です。即ち、

問：一体誰が其の話を話してゐるのか？

といふことです。これに対する安部公房の答は、

答：「覗きという行為は、要するに人称の入れ替えなんだ。見るということとは

たいていは一人称だ。ところが、覗くと一人称でなくなる、つまり人称がなくなる。三人称ではないが疑似三人称化されるんだ。特に覗かれている相手が、覗かれていることを意識していない場合にはね。」

この話法論と人称論は、そのまま安部公房スタジオの俳優たちのニュートラルの演技指導に於いて語られた言葉と同じです。即ち、安部公房が若い役者たちに要求したことは、一人称の自分を捨てて三人称になることであると、この文脈ではいふことができます。時間と空間の交差点に立つて、役者自らが存在と化するとは、このことで、これを生理感覚に忠実に演技に結果させること、即ち存在になること、即ち夢見る者ではなく夢見られる者になること、即ち誰かに夢見られて自分が自分ではなくなる第三者になることが、これです。だから、安部公房スタジオの演技指導論と同じく、安部公房の小説論は、この観点からは次のような結論になる。

「ところで、小説というものは本来覗きのものだ。とにかく作者が三人称で書くんだからね。まさに覗いている人のポジションじゃないか。」

此処で、『S・カルマ氏の犯罪』の結末の人称の位相転移を思ひ出すのが良いと私は思ふ。この小説と、そして戯曲と演劇と舞台に対する安部公房の思想は変はつてみないのです。むしろ『イメージの展覧会』で『S・カルマ氏の犯罪』を舞台化したといふ動機は、ここにあつたと考へるべきなのです。この小説の場合、三人称から一人称への位相の転移であります。つまり、この小説の結末で、この位相の転移の間にある記号 ★ は、かうして「意味を形成する以前の記号が露呈してくるということだね。」といふ其の露呈への一里塚、存在への立て札であることが理解できるのです。

「やがて、その手足や首もなめし板にはりつけられた兎の皮のようにきひのばされて、ついには彼の全身が一枚の壁そのものに変形してしまっていたのでした。



見渡す限りの曠野です。

その中でぼくは静かに果てしなく成長してゆく壁なのです。」

「箱男が箱の窓を額縁にしてのぞいたとたんに、風景の要素が変わってくる。風景のあらゆる差異が均質となって全部同格の意味をおびてくる。」とふ水平面の均質の砂からなる砂漠の可塑性の高い世界から、さう、この存在の世界から90度垂直に立つて成長する壁に変形して均質世界から脱出して主人公自身が存在になる一人称の結末であるといふ此の結末は、次の壁といふ存在への脱出であり、主人公の脱皮である。

なにか、この小説の一人称が三人称になるのではなく、その逆の位相転移であるといふことに、もう少し何かいひ足りないものを感じますが、ひとまづ此処までとします。此処までのインタビューでの安部公房の発言の真意についての意は十分に尽くしたと思ひます。

安部公房の窓とは何か、正確に問へば安部公房の存在論の記号を使つて、安部公房の《窓》とは何かについては、『もぐら感覚(3)：窓』(もぐら通信第3号)に詳述しましたので、これをお読み下さい。ダウンロードは：
shorturl.at/begU4

冒頭を少し引用します。

「安部公房は、子供のころから、窓というものに特別の注意を払っておりました。今、ざっとわたしの記憶にある、安部公房の窓の出ってくる資料を挙げると次のようになります。

1. 小学生の時に書いた現存する最初の詩の窓
2. 中壘肇宛書簡(第4信)の窓氏(1943年)
3. 「詩と詩人(意識と無意識)」の窓(1944年)
4. 「君が窓辺に」という詩の窓(1944年)
5. 「天使」という最近発見された作品の窓(1946年)
6. 「第一の手紙~第四の手紙」の窓(1947年)
7. 「箱男」の窓(1973年)
8. 「カンガルー・ノート」の窓(1991年)

これ以外にも、もっとたくさんの安部公房の窓がある筈です。ご存じの方は、ご教示下さい。また、ご自分で安部公房の文章を読む時に注意を払って読むと、あちこちに見つかるのではないのでしょうか。」

S Fで思考するための本棚

(9)

初期荒巻義雄論 1

『しみ』論

岩田英哉

この回から回数を重ねて、荒巻義雄論を論じます。次の手順をとつて、最後の目標たる英訳版の『カリフィアの少年』にまで至ることを計画してゐます。

- 1。1965年2月発表『しみ』論
- 2。1970年5月発表『時の波堤』論（発表時の題は『大いなる正午』）
- 3。1978年10月発表『カリフィアの少年』論
- 4。『カリフィアの少年』 / 『The Boy of Califia』英訳版の完成

これは、著者の荒巻さんに、ある時、私の連載してゐる巻頭詩の和訳をお読みになつた著者が上記4の初期短編の和訳を依頼され、簡単に引き受けたものの、これは一筋縄ではいかないので、同氏の詩集『骸骨半島』を批評して其の世界の精髓はよく知つてゐるものの、散文を、それも英語に翻訳するなど思ひもよらず、従ひ上記の手順を踏まねば英訳は難しいからうといふことから、この順序でまづ『カリフィアの少年』を完璧に理解をしてからでなければ英訳はできないと考へたからです。其のためにはこの作品以前の作品である最初期の処女作『しみ』と『時の波堤』（刊行時名『大いなる正午』）を批評してゐることが必要でした。いずれも傑作です。

『しみ』は、この作家の処女作です。初出は『コア』といふ北海道SFクラブの発行したSF雑誌の創刊号です。私が此の作品を取り上げるのは、処女作に作家の全てがあるといふならば、確かに其通りの昨日いんだからです。此の後に、次に論ずる予定の、5年後の『時の波堤』の、そしてその後の諸作品の原型であるからです。ですから、この作品は量ではなく、といふのは何しろ『定本荒巻義雄メタSF全集第1巻』のページ数でほんの3ページの作品ですから、まさしく此の作品は質の作品であつて、荒巻義雄の本領が過不足なく、そして遺憾無く、これだけの極小の量の中に発揮されてゐる作品だからです。

このしみといふ生き物は文字通りのシミであり染みであつて、壁のシミなのである。このシミが話者である俺といふ一人称である誰かと対話をする話なのです。この俺といふ誰かは或る部屋の中にあるやうである。俺の名前がないので、

読者は俺を特定することができず、それ故に誰かといふ以外にはない。この誰かである俺が、シミと呼んである此れも時間に生きる生物である何かと意思疎通を図る話が、この『しみ』といふ小説の構図なのです。

この主人公である話者は、いや待てよ、シミこそが主人公かも知れないのであるが、「ハムの免許は持っている」ので、どこか遠いところに住む人と意思疎通をしたいといふ心を持つ人間なのであることがわかります。この意思疎通、即ちコミュニケーションといふモチーフ・動機は、荒巻義雄の本質的な、この作家の根底にある、文字にして文章を書き作品に仕立て上げる時に発現する、作家自身の抗ふことの出来ぬ意志なのです。この意志は此のやうにもう1人の他者の意志と分かち難い。だから、常に他所の惑星にゐる誰か、時間の中に生息してゐる人間ならざる生き物は、多分もう一人の、作家の内部宇宙の中の《私》が登場して、遙かに遠い距離を0にすべくコミュニケーションを取るのである、取るのであるが、この時の作家の形象は実に卓越したもので、作家の圧倒的な独創は此処にあるのです。それは、方程式として次のやうに定式化することができる。

荒巻義雄の内部宇宙では時間の液状化が起きる。

といふことである。

この作家にとって、時間は液体なのである。このことによつて、作家の内部宇宙の中の《私》が登場して、遙かに遠い距離を0にすべくコミュニケーションを取るのである。時間が液体であれば、この媒体は彼処も此処もどこもみな同じ液体の中でのことであることを現実にならしめる媒質でありますから、宇宙人とも話ができて、そこには時差は存在しない。この小説では、このシミは、俺はシミが「沼地みたいなところに足をを突っ込んでじゃって抜き取れないでいるらしい。」とまづシミの声に気づいた時にさう思ふことが、この一人称の誰かである人の空間感覚を明らかに示してゐる。この作家にとっては、空間とは液体で満たされてゐる空間なのである。否、あるいは、空間とは液体でできてゐると考へてゐるのだ。さう考へる方が、作家の理に適つてゐるのは上掲の定式の通りです。

だから、話者には壁のシミの独り言が聞こえたのです。だから、話者にはシミといふ異次元の生物の独り言が同時に、否、同空間にといふべきですが、そのやうに聞こえたのです。

シミとは「時間的生物」であつて、「時間の中を行き来できる」生物です。「体の構造も時間的に拡がっている」ので、「頭が未来にあつて、足が過去にあるなんて場合もありうるわけ」の生物です。

上述の「沼地」といふ凹の空間に満ちてゐる液体であることを話者が思つたところでは記号なしの地の文のただの沼地であるのに対して、次元が一つ上がつて、対話が始まつたところで、此の沼地は日常の時間から抜け出して液状空間に格上げされたので〈沼地〉と記号化されて書かれてゐて、その独自性を主張してゐる。そして、この生物はかういふのである。

「〈沼地〉じゃなく〈過去〉だつて言っているんだよ、そう、過去、未来の過去だよ。」

とこの一行を読むと、安部公房の読者ならば即座に『第四間水期』を思ひ出して、ああ、この小説は安部公房と同じ超越論の小説なのだなど得心がゆくのです。現在は未来の過去であり、過去は未来である現在の過去である。未来は、それでは、次の未来の過去である現在である。といふ論理によつて、この作家の未来は常に現在であり過去であり未来なのであつて、要するに煎じ詰めれば、時間は存在することなく、空間的な液体、即ち時間が液状化した世界の中で物語が進行するのです。

この話者のゐる現在は、時間の中に生きてゐると見えて実は無時間の空間に生きてゐる時間生物ですから、〈お前は流刑囚の子孫だな〉といふことになるのです。言はれた俺には、そんなシミの未来から見ての此の過去の記憶はない。このシミの会話は常に其のやうな時間に生きる生き物として其の存在する次元を表すために〈〉の記号が両脇について書かれてゐる。シミの語るには、俺といふ話者のゐる空間と此の空間に話者の俺のゐる理由が、過去の未来にあつて人間が「〈凶暴なる闘争本能を帯びた悪性遺伝子を具有したる重罪人〉」であつて、それ故に「時間的自由性と時間的存在を剥奪し、空間枠内に監禁、永遠に遺棄するものとする」といふ判決を受けてゐるからであるといふ。確かに其の通りの次元に話者はゐるのだ。だから「話の辻つまは合っているみたいなんだな。」そして此の生物が時間の中に延長する生物だと上記の如くに知つた後では、「俺はだんだん薄気味わるくなつてきたね。なにしろ、とてつもなく長命な生き物でね、母親の胎内にだつて十万年だか二十万年だか入っているって言うんだ。」といふ此の母親の胎内の水に胎児の姿のまま浸かつてゐる形象は、最新の第一詩集『骸骨半島』では、「タイムズ・スープ」と呼んだり（同詩集30ページ）、「原水の泉」と呼んだり（『淤能碁呂島幻歌』86ページ）、「闇に浮かぶ湖沼」と呼んだり（『骸骨半島』12ページ）、いづれも「原古」の「海原」へと「原存」と「原郷」へと回帰するために時間の河を逆行する形象である。作者にとって生きる内部宇宙は、外部宇宙が大地母神の上に生きるといふのに対して、大海母神に生きてゐるのが、この作家の液体の胎水の大地なのである。この液状の大地の空間か

ら千変万化する贅沢な形象が生まれ立つのだ。そして、この時、作者の中の話者は「母よ/あなたは遡る……」のです（同詩集『骸骨半島』14ページ）。

さう、此処まで解析して来て、最初の出だしに回帰するとかう書いて此の話は始まつてゐるのでした。

「 恐らく信じやしまいね。
近ごろ、長雨がつづいているだろう。」

(づづく)

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

（9）

岩田英哉

目次

1. 前編
2. 後編
3. GAME CHANGE理論
 - （1）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
 - （2）古いゲーム・ルール2：アメリカのゲーム・ルール：一般論
 - ①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コココーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジット・カード、ディズニーランド等々）
 - ②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
 - ③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

新ゲーム・ルール

対アメリカ帝国：

- （1）新ゲーム・ルール1（アメリカ帝国向け）：一般論
- （2）新ゲーム・ルール1.1（アメリカ帝国向け）：個別論
- ①文化領域
- ②政治領域
- ③経済領域

対中華帝国：

- （3）新ゲーム・ルール2（中華帝国向け）：一般論
- ①支那とは何か中国とは何か
- ②中国の経済の構造
- ③中国の政治の構造
- （4）新ゲーム・ルール2.1（中華帝国向け）：個別論

対ロシア帝国：

- （5）新ゲーム・ルール3（ロシア帝国むけ）：一般論
- （6）新ゲーム・ルール3.1（ロシア帝国むけ）：個別論

4. GAME CHANGE理論（日本篇）

- 4.1.1 国民にとって理想の政府とは何か [対ロシア帝国] の中身は2022/0312
- 4.1.2 現行日本国憲法無効化論 現在未定]
- Intermezzo：文明の衝突篇：ハンチントン著『文明の衝突』からウクライナ問題を考察する
- 4.1.3 戦争空間領域分類論
- 4.1.4 日本国家軍事費用計算論
- 4.1.5 武器とは何か 1
- 4.1.6 日本国家核ミサイル保有論
- 4.1.7 北朝鮮拉致被害者奪還論
- 4.1.8 日本駐留米軍退散論
- 4.1.9 日本中央銀行廃止論
- 4.1.10 尖閣諸島問題解決論
- 4.1.11 竹島及び北方領土奪還論
- 4.1.12 国体明象論（国体明徴論ではない）
- 4.1.13 国制明象論（国制明徴論ではない）

4.1.6 日本国家核ミサイル保有論

引き続き『Nuclear Strategy in the Modern Era』を元に考察を続ける。

この序文を私はまだ読み終はつてゐないのは、内容が凝縮したもので一行一行に深い意味が宿つてゐるからだ。さらりと書いてある一行など一行もないのだが、それでもさう見える一行でも一つ一つ考へさせる一行なのであるから、私はあつちこつちで石にけつまづいてヨロヨロしながら論旨の筋道を辿つてゐるわけである。即ち、この著者は叢書の名に恥じず、熟慮を重ねた上で、次の三つの核ミサイル保有国の戦略分類に至つてゐるのだ。其の前にまづ核保有国の二大一次分類を示してから本題に入りたい。この場合、本題とはハーヴァード大学でやつてゐると昔聞いたことのある所謂ケース・スタディで、台湾有事は日本有事だと日本人の騒いでゐる問題を、此の著者の核理論を適用して、果たしてこの三つの分類が役に立つかどうか、その有効性・有用性の適用の当否・是非・適否を吟味してみようといふのである。台湾に核はない？日本に核はない？否、敵国である中国が持つてゐるではないか。最初に核保有国の分類を示す。

1。核保有国の分類1（核保有視点）

- (1) Super Nuclear Power（超核大国）：SNPと略称する。
- (2) Regional Nuclear Power（地域核勢力）：RNPと略称する。

このふたつの用語の対比を見て判ることは、実は超核大国とは、自国以外の国境を超えて幾つもの国に対して直接核ミサイルを撃つことのできる多数の核ミサイルを保有する国だといふ意味であることである。この国は、核を使ふぞ使ふぞといつて他国・隣国を脅しながら戦略的に外交交渉する能力を有する。軍事は外交の延長、外交は内政の延長である。核を使ふぞ使ふぞといつて他国・隣国を脅しながら戦略的に外交交渉する能力の発揮を著者はposture・姿勢・態度と呼んでゐることは既述の通り。

このSNPは、核の保有と応用に関して、非核保有国に対して、次の全てのプロセスを支配することができる。

- (1) 脅しのposture・姿勢・態度
- (2) 優位性を持つた外交交渉
- (3) 核の先制使用(first use)：tactical first useと呼んでゐる。First useはtactical（作戦レベルの使用である）
- (4) 核の報復使用(retaliation)：counterforce strikesと呼んでゐる。
- (5) 核による確実な破壊：assured destructionと呼んでゐる。

上記（１）と（２）は謂はば平時または準戦時であり、一言でいへば戦時前段階である。（３）と（４）は戦時である。此の後に、終結段階を考へることができる。

上記（３）の先制使用とはtactical useであるとあることからわかる通り、この著者の核使用のプロセスは、相手の出方を伺ふためのfirst useなのであり、その反応を見て、次のプロセスの選択を判断する手筈であり手順だとわかる。だから、例をいへば、最初に此の段階で戦術核を使用して狭い範囲を破壊し、その後の相手の反応次第では次に、本格的に広範囲を破壊する核を使用するといふ此処は二段構へである。いづれにせよ核を二度、狭・広二段回に分けて二種類使用するわけである。これが、西欧米で考へてゐる核の使用である。核戦争は一発では終はらないといふことである。

このプロセスは軍事的核使用の視点からのプロセス分類であるが、軍事遂行能力の視点からの分類は次のやうになる。後掲するRNPの取るべき３つの核戦略分類を前提にして、この三つの核戦略を遂行するための、

- （１）capabilities（abilityではなくcapabilityといふ能力）
- （２）command and-control architectures（命令と制御の構造）
- （３）the levels of transparency regarding the latter characteristics（上記（２）に関する透明性の水準分類と実行能力）

上記（３）に透明性の水準・レベルを整備してをくことが要求される理由は、戦争後に核使用の正当性を証明するためである。また、この同じ三つのことを著者はもう少し簡潔に一語に縮約して次のやうにそれぞれ言ひ換へてゐる。

- （１）a spectrum of capabilities（様々な実践的能力のまとまりある一つのspectrum・階調）：軍事遂行能力の分類が必至だ。^{【対ロシア帝国】}の中身は2022/0312
- （２）management procedures（管理の手続^{現在未定}手順）：これも戦時下に臨機応変に対応できるためのRNPの核戦略に基づく戦局に対応した管理の分類が必至。
- （３）transparency（透明性）：上記（１）と（２）を含み、全体的な論理構造を備へた核兵器使用に関するあらゆる組織的行為の分類が必至である。

もう一つ付言すれば、この著者の用語の使用には、軍事的緊張関係の文脈に応じて次の分類があり、これらの用語を正確に使ひわけてゐる。（ ）の中の和訳と註釈は対比関係を分かり易くするために便宜的に私が入れたものである。

- (1) Enemy (敵国) : この用語は使用してゐない。
- (2) Opponent (対立国) : 感情を入れずに客観的に論ずるための用語と察する。一旦軍事的緊張関係が発生すれば敵国の意味になる。
- (3) Adversary (対抗国) : 通常政治的に利害は強く対立してゐて、何かにつけ反対する国であるが、軍事的緊張関係に至らぬ段階での対立国のことである。

今のロシアと中国は、この分類によれば明らかに、日本の国にとつての Opponent (対立国) である。既に軍事的緊張関係が発生してゐるので、この二国は連携してゐる対立国である。このopponentには早や英語では敵といふ気配がある。政治ならばopposition・野党といふ意味に相当するだらうが、これは国家内部の話、このopponentは国家間の話である。opponentには北朝鮮と韓国も入る。

これらの三分法を、あり得る場合といふ視点から分類すると次のようになる。

- (1) 敵国 : 現実性 (reality) の段階にある敵国。対立国の一段階エスカレートしたもの。
- (2) 対立国 : 蓋然性 (probability) の段階にある敵国。対抗国の一段階エスカレートしたもの。今のロシアと中国はこれである。opponentには北朝鮮と韓国も入る。
- (3) 対抗国 : 可能性 (possibility) の段階にある敵国。

さて、以上のことを前提にした上で、RNPの核保有戦略のposture・姿勢・態度分類は次の通り。

- (1) the catalytic posture (触媒国になるぞといふ姿勢)
- (2) the assured retaliation posture (間違いなく報復するぞといふ姿勢)
- (3) the asymmetric escalation posture (非対称的なエスカレーションをするぞといふ姿勢)

日本も台湾もその他のアジアの諸国も核ミサイルを保有してゐないので、RNP即ちRegional Nuclear Power即ち地域的核保有国または地域的核勢力にまだなつてゐない。なるならRNPである。このことを承知の上で、上記三つのposture分類の実例をまづ最初に(1)の例として1973年のイスラエルがシリアとエジプトを相手に採用して成功した此の戦略のことを説明する。戦争の名前はYom Kippur Warと呼ばれてゐる。イスラエルは当然に地域的な核勢力であり、RNPである。ここで「the catalytic posture (触媒国になるぞといふ姿勢)」戦略、とは一体何か。これらの吟味と理解の上で、台湾有事にそのまま適用できるか否かを更に検討したい。この検討の結論は、以上のことから、

台湾有事を核ミサイルの保有を台湾がし日本がすることを前提にしたあり得る
場合の分類になります。

(続く)

ネット・モナド論

(34)

貨幣とは何か

岩田英哉

ネット・モナドであるあなた自身が全方位的な情報解析者になることが必要とされてみて、それは誰に何に求められてゐるかといふと、あなた自身が生きるために必要としてゐることなのです。これまでの数回は今起きてゐるウクライナ紛争の解析を「プーチンは何を考へてゐるか？」といふ題名の元に致しましたが、此処から政治の方面から経済の方面に目を向けて、ネット世界にある経済情報を受け取つて自分の力で分析することのできるために、この題目を設けて解説を施して、あなたの理解を得たいのです。

I. 縄文原理

1. 世界は差異である(認識論)
2. 価値は等価で遍在する(存在論)

差異あるが故に、その落差に溝に凹に、連続量としての価値が流れ込んで、外部と内部の価値を等価にしようとする。これは自然の力の働きである。自然の意志の働きである。例を挙げると、水や風がさうである。川や海の水や大気が、さうである。人間の活動を主体に考へた場合に、その自然の中の最高の価値が金であり銀であり(金属といふ固体)、石油であり石炭であり(石油は液体、石炭は固体)、天然ガスである(ガスは気体)。

さうなると今度は、価値の交換をするために(これは主に人間の目的意志である)、連続量を単位化して計測できる単位量に変換する(例:コップ一杯の水、カップ一杯のコーヒー、1リットルの石油など)。金銀の単位があり(オンス)、石油の単位があり(リットル)、石炭の単位があり(トン)、天然ガスの単位がある(m³)。この単位化の故に、人間はこれらの天然資源の等価交換ができて、通貨といふ国家別単位を円だとかドルだとかユーロだとかいって取引ができる。

このやうに、上記縄文原理の第1項と第2項は相互にコインの裏表であり一体の原理であつて、この二つの項は実は同じコトの両面である。このやうに世界は一つになつて出来てゐる。

それでは、貨幣とは何かといふ問ひに答へよう。

貨幣の定義1

貨幣とは、人間の関係する等価交換に関して、その基礎になつてゐる価値の連続量としてある総体である。

これが縄文原理の第二項による存在論的な定義である。それでは、第一項による定義はないのかと問はれれば、その定義は、通貨との関係で、次のやうになる。

貨幣の定義2

貨幣とは、各国家別単位によつて単位化され得る自然物のうちで、人が等価交換する価値のあるものである。

さうすると、通貨の定義はかうなる。

通貨の定義

通貨とは、一国内にあつて二つのモノとコトが等価交換される場合の、国家別単位の名称を持つて流通する、時間の中にある貨幣のことである。

私たちの日本語は、時間の外部に存在する自然物としての貨幣と、時間の内部に存在する通貨とを識別してゐないで、どちらも一言でお金(かね)と呼んでゐる。私たちにとつて、自然は常に一体であり、1あり、即ち、意志ある存在である。

この意志は、第一項と第二項が同時に且つ同じ場所で満たされた場合に人の目の前に現れる。曰く、火山の爆発、地震、火事、戦争の勃発、資本主義の相場の価格の急騰と急落、等々、安部公房の言葉を借りれば、時間と空間の交差点に現れる。この交差点に隠れてゐた力が出現する。何年何月何日にそこ此処あそこに現れる。もつとも人は未来の予測は瞬時たりともできないわけであるが。何故なら、時間とは常に時間的差異、即ち遅延であり、空間とは常に空間的差異、即ちスキマでありハザマであり、マであるからだ。そのマがいつどこに生まれるかを人は予測することができない。何故ならマとは何かと何かの間にある目に見えぬ関係だからである。私たちは関係、即ち無いもの、無いこと、空無、空白、余白をドンピシャリで見て知ることはできない。更に何故なら、私たちは時間の中に、時間の中を、生きてゐるからである。その空無、空白、余白は遅延して私たちの目に入るからである。これが私たち日本民族の往古からの認識論であり空間論であり哲学であり形而上学(meta-physics)である。だから、私たちは貨幣と通貨を識別せず区別しないで、単にお金といふ一言で用が足りるのである。これ



が、私たちの神道の世界観であり、世界である。この世界は結び目に現れ、私たちはこの結び目をお祓ひして清めて、メビウスの環となすのである。これについては『縄文紀元論』に詳述した。だから、かうして現代の日本も日本人も、縄文紀元に生きてゐるのだ。依然として、このやうに、自然はカミである。さう、この神道のは、またいふならばカントの『純粹理性批判』批判である。さうして、「近代の超克」の完成である。

以下、次章として、このお金に関係する項目を列挙したので、一種の備忘として追加する。後日の論の展開のための土地の面積を確定するための杭である。

II ダボスとグローバリズムといふ共産主義に打ち勝つための項目分類

1. 脈

- (1)個人脈
- (2)法人脈
- (3)金脈1(貨幣脈)
- (4)金脈2(通貨脈)

2. 思想:ものの考へ方(二項対立か超越論か)

- (1)二項対立思考
- (2)超越論思考

3. 経済主義

- (1)資本主義:自由経済
- (2)共産主義:計画経済

4. 政治主義

- (1)民主主義:多数決主義
- (2)共産主義:絶対個人主義

III 貨幣とは何か2:万年筆マネーと信用創造について

万年筆マネーといふ言葉を耳にし、その説明を聴くと、それは債権債務の帳簿に数字を万年筆で書くと、それで信用創造ができるといふ説明であつたが、それではまだ理解が足りないなので、万年筆を英語でいふときの fountain pen moneyのfountainについて解説をしたい。そして、その後で、信用創造とは何かといふ問いに答へたい。



1. 万年筆マナーとは何か

Fountainは泉といふ意味です。これは四季の最初のspringの春といふ意味との重複のない、湧いて出てくる泉のことです。源泉といつてもよい。この場合、西欧の、また東欧も同様であるが、この泉には次の二つの泉があるのです。

- (1)自然の中にある泉
- (2)都市の中にある泉

私の実際に経験した自然であるドイツの森、またドイツ語の読書を通じて知ってゐる自然である森の中の泉の話をします。この経験と知識を一般化しながら話をしたい。

森は神秘的な、森の外の世界とは異なる異界である。そこには、恐ろしいものが住んでゐて、それは私たちにもお馴染みのグリム童話のヘンゼルとグレーテルとか、眠れる森の美女とか、ラプンツェルとか、かういふ話を思ひ出してみると良い。いずれも時間の存在しない森の世界の話です。この森の中に神聖な泉があつて、といふよりも森の中の泉は神聖なるものであつて、この泉を守護する野獣のやうな化け物がそこにゐて、やつて来る人間を追ひ払ふ。あるいは、人間の姿ならば、泉を守護する泉の騎士と呼ばれる騎士がゐて、騎士といふのはヨーロッパのキリスト教中世の身分の者ですから、これは泉を護る化け物よりは、ずっと時代が降つてゐるのですが、それほどにこの森の中の泉は神聖な泉であり、そこからは滾々と水が溢れ出て来て、尽きることがないのです。これがヨーロッパの人間の泉の形象、fountainのイメージです。

さて、これに対して都市にも泉がある。この泉は町の中枢部にあつて、そこにあるマーケットまたは市場(いちば)の開かれる広場の丁度良い場所に人工的な泉として造られてゐる泉です。一番良いのは、ローマのトレヴィの泉を思つて下されば、よく理解ができるでせう。この都市の泉といふものは、ヘルダーリンの或る詩によれば、また Rilke の「形象詩集」の詩によつてもさうですが、前者も後者も山脈を水源とし、山脈の下にある町の中の泉へとやつて来て噴水となつて水を噴き出す。いずれにせよ、山といふ自然の中の高みに淵源を持つ。トレヴィの泉の淵源は、イタリアですから、アルプスに違ひない。

さて、ところで、この泉には何故人は後ろを向いてお金を投げ入れるのでせうか?正面を向いては見返りの報酬は返つて来ない。後ろを向いて見ないことにしてお金を投げ入れて入れると良いことがある。この泉は、町の中にあるとはいへ、その姿勢に関する規則によつて、泉を見てはいけないといふ禁止則、禁忌、タブー



の空間を創造することによつて、泉から富を得ることができるといふわけです。自然の森の中の泉であれ、都市の中のマーケット・市場にある泉であれ、根底に流れてゐる感情は、神聖なるものであり、神秘的なものであり、見てはいけないものである。

この見てはいけないといふ禁忌を産む場所が都市のマーケットであるといふ事実は興味深い。マーケットでは、現代のマーケットも同様に、ものの売買といふ等価交換の行はれる場所だからです。ここで明言してをきますが、等価交換によつて余剰が生まれ、富が生まれるのです。これは不思議なことです。この等価交換によつて産まれる余剰を、私たちは清め神聖なものとして尊び、お祓ひをするわけですし(何故ならそれはメビウスの環の結びに生まれ出るものであるから)、お祓ひをすることによつて逆にその等価交換の結びを清らかで尊いものとなすわけです。ですから、この私たちの儀礼儀式と、キリスト教圏のローマのトレヴィの泉の通俗的と見られる儀式は、宗教といふなら宗教、土着の信仰といふならその土地その国の信仰として、その人間的な感情も含めて、その感情の質は異なるといへどもしかし、双方全く相通じてゐるのです。このことを念頭に置いて先に進みます。

明治の人が和訳した万年筆といふ言葉の意味は、汲めど尽きせぬ泉のやうな筆だといふ命名で、fountain penを訳したこれは名訳です。つまり、万年筆マネーとは、幾ら汲んでも尽きることのない貨幣と呼ばれるお金だといつてゐるわけです。言語理論上、お金は無限に泉といふ自然の差異から湧き出て来ます。上記に定義した定義を再掲します。

貨幣の定義1(存在論)

貨幣とは、人間の関係する等価交換に関して、その基礎になつてゐる価値の連続量としてある総体である。

これが縄文原理の第二項による存在論的な定義である。それでは、第一項による定義はないのかと問はれれば、その定義は、通貨との関係で、次のやうになる。

貨幣の定義2(認識論)

貨幣とは、各国家別単位によつて単位化され得る自然物のうちで、人が等価交換する価値のあるものである。

さうすると、通貨の定義はかうなる。



通貨の定義

通貨とは、一国内にあつて二つのモノとコトが等価交換される場合の、国家別単位の名称を持つて流通する、時間の中にある貨幣のことである。

通貨とは時間の中を流通する貨幣のことである。

万年筆マネーといふ言葉の意味の総体は、この二つの定義の通りになつてをり、その後の通貨の定義もまた、滾々と水が溢れ出て来て、尽きることのない泉の前で、その場所で、市場が開かれるのは、株式相場や外国為替相場(以後「FX」と呼びます)の実際の通りです。此処でも摂理に従って、貨幣と通貨の関係は二重写しに、日本語の構造をいふならば冗長性を持つて redundandant にできてみます。この関係をマトリクスにした表を再掲します。

ダウンロードは:<https://docdro.id/qUo0FQR>

宇宙原理		貨幣の分類	Pozsar論文による Bretton Woods III用語	食糧	鉱物	燃料	市場	金利	二次通貨1 (国家発行通貨)	二次通貨2 (国家発行通貨)	有価証券		備考
第一項	世界は差異である	二次通貨	Inside Money	-	-	-	FX・株式市場	金利2	国家主権発行通貨単位	国債	株式・債券	手形・小切手	これらの二次通貨は皆token (買の通貨) である
第二項	価値は等価で偏在する	一次通貨	Outside Money	米、パイナップル、バナナ、椰子の実、小麦、トウモロコシ、その他	金、銀、プラチナ、その他	原油、天然ガス、シェールガス、その他	先物市場	金利1	-	-	株価指数	-	-
先物市場さきものしじょう future market								問題					
商品、金利、通貨、株価指数などの先物取引が行なわれる市場。シカゴのCMEが代表的である。先物取引とは、将来のある時期に商品のある一定の値段で売り渡す契約を交わすものだが、通常は受け渡しの時期までに反対売買をして、当初の契約額との差額だけを決済する。(shorturl.at/joHP2)								上図で二次通貨二つの発行主体が国家としてあるものが、実態は各国中央銀行(日本ならば日銀)が発行してゐてこれがバーゼルの世界中央銀行につながつてゐることが国家の一大問題である。これを解決しない限り、日本の独立はない。日銀のメール配信を受けて読むと、日銀の社員は日本の国民のための仕事を全然してゐない。こんな機関は要らないので、1日も早く解散さすべきである。					

上記の通貨の定義で、

通貨の定義

通貨とは、一国内にあつて二つのモノとコトが等価交換される場合の、国家別単位の名称を持つて流通する、時間の中にある貨幣のことである。

とあるうちの「二つのモノとコトが等価交換される場合」が市場であり、マーケットなのです。この市場・マーケットを水平線で示した上で、更に信用創造の仕組みを図解しましたので、これを掲示します。

ダウンロードは:<https://docdro.id/TCoyyxS>

2022/09/09
eiyu iwata

言語による信用創造説明

言語経済学

A
貨幣の原型

B
国家経済の創造

C
国家経済の安定
(国家別通貨単位)

これはサイクルである
←
これはサイクルである

需要・供給
相場は差異である
市場・MARKET
[売・買]
価値は等価で遍在する



需要・供給
相場は差異である
市場・MARKET
[売・買]
価値は等価で遍在する
需要・供給

普遍言語規則1:

1. 世界は差異である
2. 価値は等価で遍在する

普遍言語規則2: 普遍言語規則1から導きされる規則2

貨幣の並びとその上の線(市場・マーケット)の上にある通貨の世界との対応関係にある通貨・利益・信用創造・税金の世界は1:1の関係ではない。1:NまたはN:1である。これがB国家経済の創造の枠囲いにある金の保有量と国家経済規模の関係である。金の保有額と読み替えると、金の市場を考へることになる。そして金本位制の場合、1:Nならば自由主義の資本主義経済、N:1ならば共産主義経済である。どちらの場合でも、C国家経済の安定の枠囲いにある通りに国家主権発揮のために必須の自国通貨単位を前提とする。この通貨単位(例:円、ドル、ルーブルなど)がなければ信用創造はない。

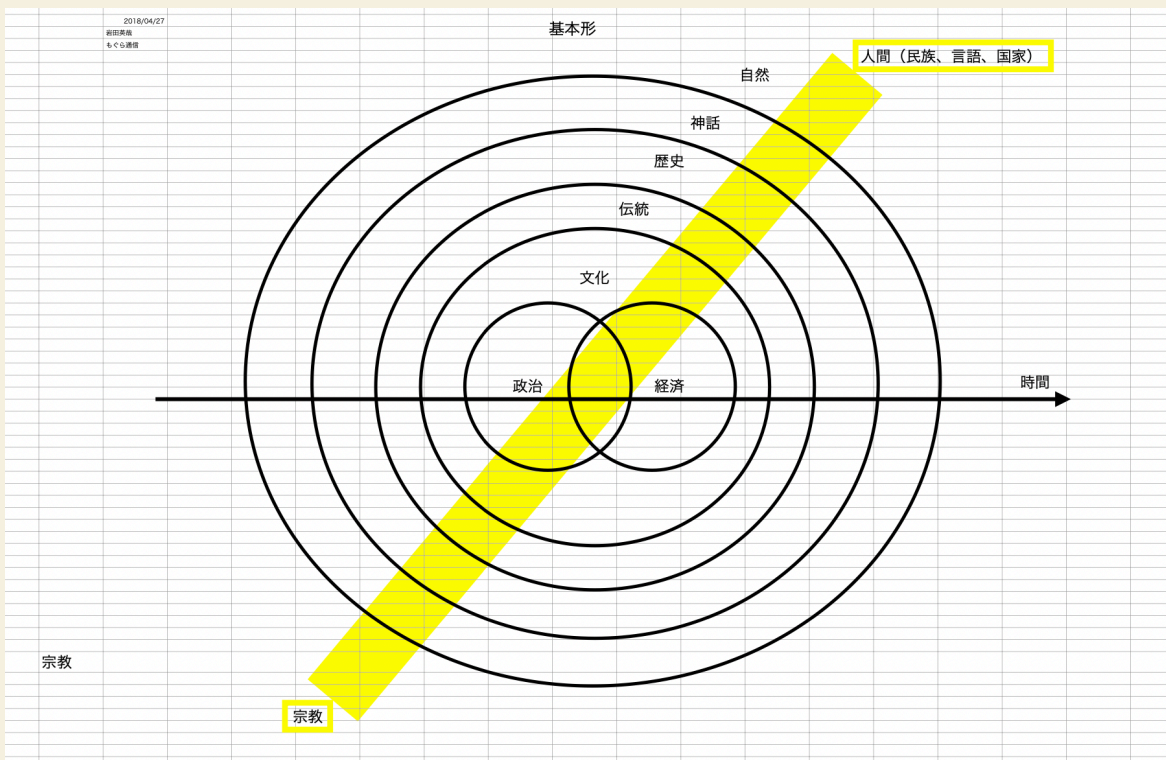
図の解説を言葉で箇条書きに列挙します。

1. 最初にA, B, Cの枠囲ひを見て下さい。
2. Aが基本形であり、貨幣の原型です。これは上述の通り、貨幣と通貨の二階層になつてゐる。これが、私たちがお金と呼ぶ全体の構造です。
3. このAの基本形を基点としてBの国家経済の創造とCの国家経済の安定が図られる。さうして、
4. BとCは、絶えずAを基本として、BCの間を往復して政府権力は国家の富の全体的な安定的な増進と維持を図り、管理する。この場合の管理は国家水準の話ですから、経営するといつて良いでせう。わたしが折に触れ、経営者としての政治家を理想の政治家像として語るのは、このやうな貨幣の構造と本質を理解してゐるのが、経営者だからです。これは、企業の大小を問ひません。ですから、企業の日本の97%が中小企業であるといふことは素晴らしいことなのです。日本の宝だ。そして、この97%の中小企業経営者を大切にしない日本の国家であれば、それは国家の衰退を招きます。だから、グローバリズムといふ共産主義は何がなんでも退散させ退治しなければなりません。鬼は外、福は内であります。グローバリストには一年中豆まきをして豆鉄砲を食らはせろ。

話がまた逸脱しましたので本題に戻ります。

5. 真ん中に横に引かれてある水平線は、市場を意味しますが、市場の取引が大きくなれば太くなり、小さくなれば細くなります。相場は生き物ですから、これは絶えず傍聴と縮小を繰り返してゐるのです。息を吐いたり吸つたりしてゐると思つてもよい。

6. BとCの間の往復を、西欧米の近現代経済学はデフレとインフレの間の中間状態である調和を図ることをいひ、それを金利で物価の上下を操縦して実現しようとして来たわけですが、一体売買といふ市場のことは、普通世の中では国家別通貨単位で国際貿易ならばさういはれ、国内経済ならばその国の通貨単位での話に終始してゐるわけですが、さて、上掲の「貨幣と通貨の構造:お金の構造」をみると、近現代の経済学は通貨の問題だけを取りあつかつて来たといふこと、私が一次通貨と呼んだ自然物については、これは西欧米の政治学と経済学の思考欠陥であると私はいひましたが、人間の社会のことだけを対象としてゐて、その外部にある自然を忘れてゐることが彼らの学問の致命的な欠陥なのです。その知識の欠落と思考の限界の外部にカルト宗教である自然保護やCO2削減といふ自然の破壊が行われてゐる矛盾に気づかないのは、私の結論は彼らの宗教が一神教であるからです。自然を考慮に入れた政治学と経済学が樹立されるべきです。これができるのは、私は日本人だと思ひます。本当は日本人だけだといひたい。「欧米の政治学と経済学に欠落してゐるもの」と題した図(通称「円盤図」)を再掲します。ダウンロードは:<https://docdro.id/jf3UHg7>



7. 普遍言語規則2:普遍言語規則1から導きされる規則2 貨幣の並びとその上の線(市場・マーケット)の上にある通貨の世界との対応関係にある信用創造の世界は1:1の関係ではない。1:NまたはN:1である。これがB国家経済の創造の枠囲いにある金の保有量と国家経済規模の関係である。金の保有額と読み替えると、金の市場を考へることになる。そして金本位制の場合、貨幣である金の価値と通貨の価値との関係が1:Nならば自由主義の資本主義経済、N:1ならば共産主義経済である。どちらの場合でも、C国家経済の安定の枠囲いにある通りに国家主権発揮のために必須の自国通貨単位を前提とする。この通貨単位(例:円、ドル、ルーブルなど)がなければ信用創造はない。

理論上は上のやうに述べたが、しかし共産主義経済は計画経済であつて、その意味は相場の絶対否定であるから、等価交換はなく、従ひ、信用創造はないのである。

締めくると、

- (1)自然の中にある泉
- (2)都市の中にある泉

この二つのうち(1)自然の中にある泉を粗略に扱ひ、扱ふどころか一方的な収奪を繰り返して来た植民地主義の白人種による資本主義の経済が危殆に瀕してゐることが、これでお分かりでせう。私はこれを自然からの都市に対する復讐といつてゐます。

日本の私たちにとつての解決策?自然を大事にすれば良いのです。これが私たちの常識で生活倫理であり生活道徳です。何故なら、自然はカミであり、カミは自然だからです。

IV ヤップ島の石貨による信用創造の実例

(続く)



【カフカの箴言8】

岩田英哉

【原文】

Er ist wie der Kampf mit Frauen, der im Bett endet.

【和訳】

彼は、寝床（ベッド）で終わる（果てる）女性たちとの戦いのようである。

【解釈と鑑賞】

この主語である彼がだれかはわかりません。いずれにせよ、女性との戦いをしている男性であるのです。

男性一般と解してもよいし、あるいは、この彼はカフカ本人だと解しても間違いではないかも知れません。

ベッドで終わるというのは、ベッドにまで共に至るとそこで戦いが終わるという意味でもあれば、また括弧の中に訳したように、男性が射精して終わるという意味もかけて読むこともできます。

この文の構文からだと、彼は戦いである（ようだ）という等式があり、とはいへ、この等式のありかたは、普通に考えて、何か一寸破格のところがあります。



【ショーペンハウアーの箴言2】

岩田英哉

【原文】

Das Schicksal mischt die Karten, und wir spielen.

【和訳】

運命がトランプのカードをシャッフルし、そして、われわれ人間が遊ぶのだ。

【解釈と鑑賞】

運命がと訳しましたが、運命という奴がと訳してもよいでしょう。

die Kartenは、トランプのカードのことです。

ショーペンハウアーの譬喩（ひゆ）は素晴らしく正鵠を、いつも、射ています。最近病院のベッドの上でその主著『意志と表象としての世界』全4巻を一気に読了しましたが（『Die Welt als Wille und Vorstellung』）、本当に読んでいて感心し、唸るような譬喩があちこちに、それも本質的な物事を体系的に論じるところで使われているのが、素晴らしい。

この一行もまた、従い、この哲学者の体系的な思考によって照らされた譬喩のひとつなのです。

Kindleのドイツ語の原著でその主著の中の、運命という語を検索すると、全部で64件出て来ました。

この64のうちから、ショーペンハウアーによる運命の定義を探すと、次のような定義がありました。これが、ショーペンハウアーの体系上の運命という概念の位置です。

Wie die Begebenheiten immer dem Schicksal, d.h. der endlosen Verkettung der Ursachen, so werden unsere Taten immer unserm intelligiblen Charakter Gemäß ausfallen; aber wie wir jenes nicht vorherwissen, so ist uns auch keine Einsicht a priori in diesen gegeben; sondern nur a posteriori, durch die Erfahrung, lernen wir, wie die Andern, so auch uns selbst kennen.



【訳】

出来事が、いつも運命に、即ち、原因の無限の連鎖に従うように、われわれの行いはいつも、われわれの知的な性格に従って、結果するのだ。しかし、われわれが運命を事前には知ることがない以上、われわれには、どんな洞察も、われわれの行為においては、a prioriには与えられていないことになり、そうではなくて、ただa posterioriに、経験を通してのみ、われわれは、他の人を知る場合も同様であるが、そのようにわれわれ自身のことをも知る以外にはないのである。

こうしてみると、この箴言のいう運命とわれわれの関係がよく判るのではないでしょうか。即ち、

運命は、無限の原因の連鎖であるということ。その連鎖をa prioriには人間は知ることができないこと。従い、人間は、その行いによって、従い経験によってしか、a posterioriにしか、自己についても知る事ができないということ。

どのような手を選択し、どのような機に賭けるのかは、そのひとの知的な性格によるということになるのでしょう。

性格こそその人の財産であるということになります。これは、わたくしの箴言でありますけれども。



高天原便り

(8)

genius loci

(ゲニウス・ロキ)

岩田英哉

十九か二十歳の時に学部のドイツ語の原典購読の授業でレッシング [註] といふ戯曲家の作品を、題名は忘れたが、読んでみて、このgenius lociといふラテン語の言葉を覚えたのであるが、それがその後も今に至るまで心に残つてゐるのは、ドイツ語の文字の中にこの語だけがラテン語で際立つて見えたからである。それ以来、この言葉の意味を考へることがしばしばであつた。

[註]

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ゴットホルト・エフライム・レッシング>

私が今この便りの主題に選んだのは、一体genius lociとは何かといふ問いに対する答へを得たからである。これはドイツ語読みで、ゲニウス・ロキと呼んだが、多分ラテン語でも同じ読みと思ふのであるが、世にある訳語は実に素気なく地霊と訳すのである。地霊では実は何もわかつたことにはならない。あなたは地霊といふ言葉を聞いて何かの形象・姿を思ふことができるかといへば、無いであらう。それは意味のないといふことを意味してゐるのです。地霊では解らぬ。何かドイツ語圏には其のやうな霊があるのだらうとせいぜい思ふ位が関の山で、それでもやはり解らないのです。霊とは何か？にまづ答へられないでせう。

私はこの鹿嶋の地、高天原といふ隠れた大倭（おほやまと）の国に居を卜して以来、実は不思議な経験が日常的に起きてゐることに此の頃気づいたのです。一言でいへば、この地では、因果の連鎖の鎖が、私の身の廻りで自然に（これが大切）解けるのである。自然に因果の鎖の解けるといふことをいひかへると、時間の中にあるお釈迦様の説いた宇宙の真理、即ち時間の中には因果律といふ絶対的な規則があるといふこの規則がこの地にては適用されてゐないのです。ですから、私の身を絶えることなく危害や災厄から護つてくれてゐる何かがあるのだといふことに気づいたのです。これは住み始めた時から起こつてゐることを思ひ出したのです。不思議なことで、私の身の周りでは因果の鎖が自然に解けるので、因果といふ時間の中の規則的な律、即ち規たる律が私には及ばない。即ち、この地には時間が存在しないのです。

なんだかトーマス・マンの長編小説『魔の山』のベルクホーフにあるやうなもので、それなら私は主人公ハンス・カストルプである。もしいづれ此の山を降ることがあれば、次はこの日本の国を離れて太平洋の島々を尋ねて、日本語の祖語を



探究したい。平地が山であり、それなら山は平地であるといふ論理の結びは、如何にもマンの小説のメビウスの環の世界である。まあ、そんなことをしなくとも、答へはいつも自国の中にあるのですが。この事情はどの国のどの民族に於いても同様です。自分の国のメビウスの環といふ結びを発見することに努めれば良い。青い鳥はいつも自宅の中にゐて美しい声を聞かせてくれてゐたあの鳥のことであつたといふチルチル・ミチルのメーテルリンクの話は此処でも正しい真理を語つてゐる。グリム童話のドイツの民話のヘンゼルとグレーテルもさうだが、兄と妹といふ主人公のお話は、何か日本人の私たちにも訴へる力を持つてゐると思ふが、如何か。安部公房は『他人の顔』の最後のところで、この兄妹の愛情について書いてゐる。これは近親相姦への愛である。

さて、genius lociとは、地霊といふのでは理解が不能であるのは、宣長流にいへばこれは漢意（からごころ）だからであり、この手の無意味な言葉を私たちは毎日口にし文字にして何かわかつたやうなことを話したり書いたりしてゐるのは、日本人が日本語を、本来の日本語の姿を忘れたからである。そのやうな無意味なお喋りをネットの言論空間によくみるのです。そんなものが言論に値するか？ 否。つまり、今日本人は随分と日本語を話してゐないし書いてゐない。日本語でものを考えることができずに苦しんでゐると私には見えるのです。

さう、genius lociとは其の土地のカミのことです。霊とは何か？に対する答へが此れです。確かに此の地にカミは生きてゐるのです。其の実感の最たるものが因果律の鎖が一人でに自然に、私の身の周りではほどけて解けてしまふといふ、私の目に見える事実なのです。これをある俳諧の会に参加した時に、談たまたまこの言葉に及び、そばにゐた捌きの女性が古典の造詣の深い方だつたので、うぶすなガミのことですよねと私に尋ねたことがあるが、今思ふと産土神では一向にすぐには合点が行かぬが、土地のカミだといふなら、確かに産土神と漢字で表すことは正しい。だから、この場合の産むとは時間の存在しない場所に、永遠の場所に何かを産む土地だといふ意味になつて、今このウブ・スナのスナは文字通りに砂でありますから、それからウブ砂のウブとは初のウブでありますから、この高天原の東の一の鳥居の立つ鹿嶋灘を前にしたその砂浜の砂だと思へば、ここは大嘗祭の行はれる秋の満月の夜には海亀のやつて来て産卵する豊饒の場所のスナでありますから、ウブ・スナ・カミといふ生命の繰り返しウブに生まれ出る此の地は、genius lociのみまします土地なのです。だから、産土神と訳した此の女性は正しい。もしこれらの、古事記に書かれてゐることの次第を理解してゐる上であるならば。さうして、無意識にでも此のことを知らぬ日本人である筈はないのです。

ここは高天原なる鹿嶋の地ですから、みましますカミガミの名は古事記の冒頭の



天地の間に現れてはお隠れになる高天原の第一層のカミガミの通りです。朝はデッキに出て天照大御神に手を合はせ、夜またデッキに出て夜空を仰げば、皎々と天之御中主神が昼間天照大御神のゐる同じ位置に明るく其処にゐます。この地の月は実に美しい。

そして、この土地の人は、かういふ地元の方言を話すのです。此れは水戸へ出た時の列車の、といつても単線の軌道で一輛編成の車中で見たものですが。



余談ながら、これも私を守護するカミの変身した姿なるらむ。



縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く

(36)

5.36 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしているのか

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能基呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱えられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなったか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2

5.16.5 誰が「しろし召す」誰が「聞こし召す」のか

5.17 いほりとは何か

5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか

5.19 クラとは何か

5.22 「日本列島位相史」の最新版を

5.23 神武天皇のやまとことばの意味は何か

5.24 世界史の中の神武天皇

5.25 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？

5.27 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？

5.28 鹿島神宮とは何か

5.29 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか

5.30 鹿島神宮とは何か2：鹿島神宮の位置と東西南北の鳥居の関係について

5.31 高天原とは何か

5.32 経津主大神とは何か

5.33 「天津国津・東西の神宮とカミ・ヌシの関係」表

5.34 神宮をやまとことばで読み解く

5.35 鹿嶋灘を前にしてある東の一之鳥居の立つ明石が浜に南太平洋から一族・部族を率いて最初に上陸した、その意義では(in this sense)本当のハツクニ・シラス・スメラ・ミコトの本名はなんといふのか

5.36 鹿嶋・香取の神宮はいつから其処にあるのか？

5.37 大祓への第一段落第一行には何が書いてあるのか

5.38 アメの岩屋戸はどこにあるのか

5.39 天照大御神が凹に「さし籠りましき」とある意味

5.40 アメの安の河と安の河原はどこにあるのか

5.41 アメの安の河原に集ふた神々とは何か、どんな神か、そして何故そんなことをするのか

5.42 鹿島神宮を初めてお参りした時に八咫鳥の現れた話

5.43 高天原の生活は如何なるものか

5.44 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲

5.45 日高見国と播磨国関係：ダイグラボッチ

5.46 日本とは何か

東ドイツ回想記

(3)

何故わたしは東ドイツに行つたのか2

岩田英哉

全ての細かな経緯と思ひの細かな襞を全て切り捨てて結論だけをここに挙げれば次の三つの動機と理由と目的がありました。目的とはこれらの問題の一括一挙の解決を図ることです。『超越論 II』で述べた通りに、ここでも此の時、私は三つの問題を解くために、あの大根畑の黒土の一本道を歩き九十度に直角に曲がる曲がり角にゐたのです。さう、確かに人生の曲がり角でした。

1. 明治以来の祖述の学ではダメだと考へたこと
2. 言語とは何かといふ問ひに答へること
3. 私とは何かといふ問ひに答へること

一つ一つ説明すると次のやうになる。

1. 明治以来の祖述の学ではダメだと考へたこと

学部の四年間の勉強ではとてもドイツ語もドイツ文学を理解できてゐないと考へたので、徹底的に納得するまで、行き着くところまでドイツ語とドイツ文学の本質を極めたいと思つたので、修士課程に進んで、二年目の途中で既述の通りに東ドイツに赴いたわけであるが、それまでの一年と半年の勉強は、当時計算しても、一日の睡眠時間は2時間であつた。夜を徹して朝方まで勉強して、明るくなるので仕方なく寢床に入るのであつた。それは嫌々寝るのである。本当は寝たくない、それほど何かを初めて知るといふことは愉快であり、勉強することは楽しいのであつた。仕様がなないので、嫌々2時間ほど寝て、起きてから学校へ行き、空いてゐる教室に入つて、眠りを拾ふやうにして小刻みに授業の合間に眠つたので、一日の総睡眠時間は2時間を超えるでせうが、しかし毎日このやうな生活であつた。

こんな生活を初年度にすると、辞書なしで、16世紀のルター訳の聖書から当時20世紀の新聞や雑誌や論文の現代ドイツ語まで読めるやうになつた。しかし、まだ足りないのである。それは祖述の学ではダメだと見出しに書いた通りで、何故なら、頭の中で読んだ文章を日本語に翻訳して、日本語でドイツ語の世界を理解することをしてゐるのでは、直にドイツ語とドイツ文学に接して理解したことにならないと考へたからである。他方、しかし、たとへば、私の指導を仰いだ中田美喜教授は東京大学から来たドイツ文学者で、恐ろしくドイツ語のよく読める人であつたし、色々なことを学んだが、そしてその先生の授業に限らないが、要

するに原典購読とは日本語に翻訳して、日本語の世界で斉合性の取れる訳をつけることであつたが、此れもしかし、それは日本語の斉合性をとるのであつて、原文のドイツ語の世界の斉合性ではないのであつた。ドイツ語をドイツ語のままドイツ語で理解しなければドイツ語で読んだとは言へないのだと私は考へた。これは思へば、私は昭和の荻生徂徠である。とはいへ、学部の際の原典購読の授業も含み、修士課程の原典購読もまた私には非常に勉強になつたのは事実であつた。が、しかし、上記の理由でこれではまだ根本的に学問としては足りないのであつた。このままあh院にゐても此処では私のドイツ語の能力、のみならず、言語に関する能力はもはや伸びないことは明らかであつた。ドイツ語といふ個別言語を私は言語一般を考へるための手段としてゐたからである。さて、どうするか、と悩んでゐた時に、代々木にあるドイツ語会話学校で知り合つた日本のルフトハンザ航空の社長秘書であつた福本さんといふ女性に、このやうな悩みを話したら、あら、それならこんな募集があるわよと言つて教へてくれたのが、記述のTECの東ドイツのプロジェクトでの通訳募集の話であつた。TECは東ドイツのシュヴェートにこれから建設する石油の精製プラントの受注を西ベルリンにある三井物産と組んで受注したのであつたので、そのための通訳を日本でも募集してゐたのである。文学と全く異なる領域での通訳であつた。

この東ドイツといふ国で生きた生活者の中でドイツ語を学ぼうとしたには理由があるのです。それは高校時代の多分二年目の時にある授業を受けてみて、その授業中に、ああ、こんな授業では私が大きくなつてから世に出た時に、日本は酷い国になつてゐるだらうと思つたことにあるのです。だから、その時がきた時に、私の自由は判断の自由であつて、私は日本の国を全面的に否定することがあるだらうと思つたのであり、その時に私は私の名前で日本の国の肯定か否定をするかは、私が評価して決めることができるためには、即ちこれが私の自由であり、此れは今も変はらないのであるが、そのためには、国立大学に入学することは最初から受験の選択肢にはなかつた。残るは私学であつて、田舎の子供に東京から聞こえて来たのは、早稲田と慶応義塾といふ名前であつたので、その由緒は知らず、とにかく国家からのお金で経営される大学に入ったら、その時が来た時に私は日本の国を否定できないと考へたのである。さうして、日本に帰つてから確か四十代のいつであつたか、確かにその瞬間は仕事の最中であつたが、周りの誰にも知られることなく、来たのであつた。結論を簡潔にいへば、その時に私の下した判断は思ひもがけないものであつた。私は日本の国を絶対的に肯定したのである。此れは私にも思ひかけないことであつた。何故なら、何も私はその瞬間に起きることを期待してゐなかつたから。私は常に、肯定でも否定でもなく、安部公房の用語を使へば、ニュートラル（超越論）であつたからである。ただ、その瞬間だけの来るのを待つた。そして、それがいつ来るかは全く知らなかつたし、それが私の生き方であつた。これは今でも変はらない。

さて、このやうな次第で、私学でなければならず（後で助成金を政府からもらつ

てみたところ、そんな金は国家から受け取るべきではないのである、もし私塾であるならば）、従ひ国費で行くのではないのは勿論であるし、何かの機関や協会の留学費だとか他人のお金で行くのではダメなのであつた。自分の稼いだ金で行かねばならないと考へてみたところに、この通訳の話は絶好の機会であつたのです。色々なこと、色々な線が、幸運にも交差して一つの判断、一つの思ひ切つた行為に収斂したのです。だから、私のこの基準に照らしたら、嘗ての敵国であるアメリカの、それもロックフェラーといふ今よく知ることになつたユダヤ人の財閥の金でアメリカに渡つて生活して帰つて来て活躍したにせよ、優れた批評家福田恒存も江頭淳も、私の読み耽つた文学理論をものした此れも優れた批評家・文学史家伊藤整も、私も好きな庄野潤三や倉橋由美子も、その他の名のある作家たちも学者もみな、何もかも、落第なのである。この考へは今でも変はらない。嘗ての敵国の企業や財団から金を貰つたら、その敵国を否定することができないではないか。勿論、否定といふ論理は肯定の上に成り立つにせよ。

TECでの給料は、後年ほとんど最後の会社勤めになるダイムラー・ベンツ社の社員となつて得た給与の額を見るまで、その間私の得た最も高い税抜き所得であつた。何故なら、しかも、一年間以上海外にゐると国内での課税はないからであつた。これも後で日本の世の中に出て知つたことで、その意味は世間知らずの若者には理解できてゐなかつたので、それはただ無愛想に自動的に毎月その大金を日本の銀行口座に受け取るだけであつた。といふのは、現地ではオモチャ銀行のお金と日本人のエンジニアたちの呼んでゐた東ドイツ・マルクが独身者である私には十分すぎる位に支給されてゐたからであつて、生活費にはこの国内でしか通用しない、アルミで出来た東ドイツの1マルク硬貨と安っぽい紙の紙幣を使はなければならず、使ふべきであつたからである（そしてそれがどういふことなのかも実は私はお金といふものを良く理解してゐなかつた）。何故なら、このお金は海外に持ち出しできなかつたからである。此れは今の中華人民共和国の場合と事情は同じであり、中国の人民元は海外では価値がなく、東ドイツの場合ならばハード・カレンシーと呼ばれてゐたドルか西ドイツ・マルクか円と両替しなければならなかつたからである。そのための闇市場が必ず裏ではあり、表だつては、通りにインターショップといふ名前の外貨専門高級商品販売店が街に一つだけあるのであつた。ここでの支払いはドルか西ドイツ・マルクであり、普通の東ドイツの市民は、まあ、共産主義国家に市民などゐないわけだが、庶民には高嶺の花なのであつた。闇市場でドルか西ドイツ・マルクと東ドイツ・マルクを両替して買ふ以外にはないのである。国民は、気の毒なことに、幾ら働いても外国の商品を買ふことはできず、指を咥へてゐるだけであつた。ただし、ベルリンと地区の共産党本部の幹部連中は違つてゐたことは、間接的にも知ることができたのは、同じ現場で仕事をしてゐた地区の高級幹部は、理由をつけて話が通れば自由に西ドイツに行けたからである。

私は着任後早速通訳に呼び出されて通訳をしたが、全くドイツ人のエンジニアの

話すドイツ語が理解できなかつた。といふのは、誰も東京の会話学校で習った標準ドイツ語を話さないからであつた。皆方言を話して、方言で訛つてゐた。何故なら、このシュヴェートとといふ町は、確か人口4万人ほどの当時は町であつたが、東ドイツの計画経済によつて人工的に作られた町で、この計画経済といふ意味は、東ドイツ全土の都市に産業上の役割分担をベルリンの共産党本部で勝手に決めて、その土地土地の、また国々の特性を考慮することなく（ドイツは歴史的にたくさんの邦国、即ち国家からなる国家である）、強制的にそこに産業施設を配置して、シュヴェートならば石油精製コンビナートを建設して他の土地の町のエネルギーをまかなふといふ考へだからである。だから、東ドイツ全土から方言を話すドイツ人たちが集まつて来てゐたのだ。日本でいふならば、青森弁を話すエンジニアと薩摩弁を話すエンジニアを相手にして、日本人のエンジニアに通訳をするといふことなのであつた。

私は最初の4ヶ月間毎晩ドイツ語で夢を見続けた。夢の中では文法も正確であり、話す速度もドイツ人と同じ速度で速く、いはばドイツ人に応戦するのも即応で猛烈な機関銃で撃つやうなドイツ語で話をしてゐるのだつた。起きて驚くのである。しかし、昼間のドイツ語は別であつて、それは夢の中のドイツ語と比べると訥々たるドイツ語であつた。しかし、そして、この夢をある晩見ることのなかつた其の日の朝から突然、私はドイツ語の通訳として役に立ち始めたのである。それは赴任後、五ヶ月目に入つてからである。その間、私は全く役に立たなかつた。

(続く)

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。